

総社市埋蔵文化財調査年報 33

(令和4年度)

2024年3月

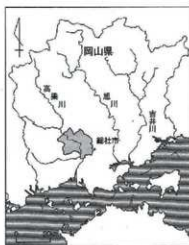
岡山県総社市

例 言

1. 本書は、総社市が令和4（2022）年度に実施した埋蔵文化財発掘調査及び立会・試掘・確認調査等についてその概要をまとめたものである。
2. 本書の執筆は各担当者である小林利晴（岡山県教育委員会から出向）、高橋進一、間所克仁、岩橋惇也（総社市観光プロジェクト課文化財係）、平井典子（総社市埋蔵文化財学習の館）が分担して行い文末に執筆者を記録した。編集は間所克仁が行った。
3. 遺物整理にあたっては、高田由美子、戸倉久美、和田かほり（総社市埋蔵文化財学習の館）の協力を得た。
4. 本書に関する出土遺物、写真、図面等は総社市埋蔵文化財学習の館（総社市南溝手265-3）で保管している。

凡 例

1. 本書の高度値は海拔高と任意高で、方位は日本測地系及び国土座標系の座標北と磁北で示した。
2. 本書掲載の挿図のうち、位置図等の地形図には総社市発行の都市計画図10,000分の1をもとに作成した。
3. 本書で用いた遺構、遺物の実測図等の縮尺率については各図面に示した。



総社市位置図

目 次

例 言 凡 例

1. 総社市埋蔵文化財行政の概要

令和4（2022）年度 埋蔵文化財行政の概要	1
------------------------------	---

2. 立会・試掘・確認調査の概要

1. 国道180号線バイパス管工事に伴う立会調査（神明遺跡）	11
2. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査（井手見延遺跡）	12
3. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査（名称未定）	13
4. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査（延遺跡）	14
5. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査（三須遺跡群）	15
6. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査（井手見延遺跡）	16
7. 電柱建柱工事に伴う立会調査（窪木遺跡）	17
8. 配電線地中化工事に伴う立会調査（刑部遺跡）	18
9. 個人住宅用地擁壁建設に伴う立会調査（軽部遺跡）	19
10. 電柱建柱工事に伴う立会調査（真壁遺跡）	20
11. 電柱建柱工事に伴う立会調査（中村遺跡）	21
12. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査（金井戸天原遺跡）	22
13. 宅地造成に伴う確認調査（井尻野遺跡）	23
14. 認定こども園建設に伴う試掘調査（遺跡外）	25
15. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査（窪木遺跡）	27
16. 個人住宅地造成に伴う立会調査（賀夜廃寺（栢寺廃寺跡））	29
17. 個人住宅建設に伴う立会調査（三輪遺跡群）	31
18. 配管工事に伴う立会調査（宝福寺跡）	32
19. 道路建設に伴う立会調査（西山古墳群）	33
20. 駐車場建設に伴う試掘調査（折敷山遺跡）	34
21. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査（早溝遺跡）	35
22. 個人住宅浄化槽建設に伴う立会調査（天満遺跡）	36
23. 宅地造成に伴う確認調査（広峰遺跡）	37

3. 発掘調査の概要

1. 個人住宅用地建設に伴う発掘調査1（阿弥陀遺跡）	39
2. 個人住宅用地建設に伴う発掘調査2（阿弥陀遺跡）	42
3. 刑部三須線建設工事に伴う発掘調査（清水角遺跡）	44
4. 個人住宅用地建設に伴う発掘調査（真壁遺跡）	48

4. 鬼城山整備事業の概要

令和4（2022）年度鬼城山整備事業概要	51
----------------------------	----

報告書抄録

目 次

第1図	令和4年度組織図	1	第31図	トレンチ配置図 (S=1/1,000)	25
第2図	調査地位置図 (S=1/200,000)	10	第32図	トレンチ柱状図 (S=1/40)	26
第3図	調査地位置図 (S=1/10,000)	11	第33図	調査地位置図 (S=1/10,000)	27
第4図	土層柱状図 (S=1/40)	11	第34図	土層柱状図 (S=1/40)	27
第5図	調査地位置図 (S=1/10,000)	12	第35図	調査地位置図 (S=1/10,000)	29
第6図	土層柱状図 (S=1/40)	12	第36図	土層柱状図 (S=1/40)	29
第7図	調査地位置図 (S=1/10,000)	13	第37図	第3層出土弥生土器実測図 (S=1/4)	29
第8図	土層柱状図 (S=1/40)	13	第38図	調査地位置図 (S=1/10,000)	31
第9図	調査地位置図 (S=1/10,000)	14	第39図	土層柱状図 (S=1/40)	31
第10図	土層柱状図 (S=1/20)	14	第40図	調査地位置図 (S=1/10,000)	32
第11図	調査地位置図 (S=1/10,000)	15	第41図	土層断面図 (S=1/40)	32
第12図	土層柱状図 (S=1/40)	15	第42図	調査地位置図 (S=1/10,000)	33
第13図	調査地位置図 (S=1/10,000)	16	第43図	土層柱状図 (S=1/40)	33
第14図	土層柱状図 (S=1/40)	16	第44図	調査地位置図 (S=1/10,000)	34
第15図	調査地位置図 (S=1/10,000)	17	第45図	土層柱状図 (S=1/40)	34
第16図	土層柱状図 (S=1/40)	17	第46図	調査地位置図 (S=1/10,000)	35
第17図	調査地位置図 (S=1/10,000)	18	第47図	土層柱状図 (S=1/40)	35
第18図	土層柱状図 (S=1/40)	18	第48図	調査地位置図 (S=1/10,000)	36
第19図	調査地位置図 (S=1/10,000)	19	第49図	土層柱状図 (S=1/40)	36
第20図	土層柱状図 (S=1/40)	19	第50図	調査地位置図 (S=1/10,000)	37
第21図	調査地位置図 (S=1/10,000)	20	第51図	トレンチ配置図 (S=1/1,000)	37
第22図	土層柱状図 (S=1/40)	20	第52図	トレンチ柱状図 (S=1/40)	38
第23図	調査地位置図 (S=1/10,000)	21	第53図	調査地位置図 (S=1/10,000)	39
第24図	土層柱状図 (S=1/40)	21	第54図	遺構配置図 (S=1/200)	40
第25図	調査地位置図 (S=1/10,000)	22	第55図	調査地位置図 (S=1/10,000)	42
第26図	土層柱状図 (S=1/40)	22	第56図	調査地位置図 (S=1/10,000)	44
第27図	調査地位置図 (S=1/10,000)	23	第57図	遺構配置図 (S=1/200)	45
第28図	トレンチ配置図 (S=1/1,000)	23	第58図	調査地位置図 (S=1/10,000)	48
第29図	トレンチ柱状図 (S=1/40)	24	第59図	整備地位置図 (S=1/10,000)	51
第30図	調査地位置図 (S=1/10,000)	25	第60図	土器復元範囲図	51

写 真 目 次

写真1	調査地全景	11	写真28	調査地掘削状況	28
写真2	土層断面	11	写真29	土層断面	30
写真3	調査地全景	12	写真30	弥生土器出土状況	30
写真4	土層断面	12	写真31	調査地全景	31
写真5	調査状況	13	写真32	土層断面	31
写真6	擁壁掘削状況	13	写真33	調査地全景	32
写真7	土層断面	13	写真34	土層断面	32
写真8	調査地全景	14	写真35	調査地全景	33
写真9	土層断面	14	写真36	土層断面	33
写真10	掘削状況	15	写真37	調査地全景	34
写真11	土層断面	15	写真38	土層断面	34
写真12	調査地全景	16	写真39	調査地全景	35
写真13	擁壁掘削状況	16	写真40	基礎掘削断面	35
写真14	調査地土層断面	16	写真41	土層断面	36
写真15	調査地全景	17	写真42	南北調査区完掘状況(南から)	41
写真16	掘削状況	17	写真43	東西調査区完掘状況(西から)	41
写真17	調査地全景	18	写真44	東端調査区完掘状況(北から)	41
写真18	調査地土層断面	18	写真45	調査区全景	43
写真19	調査地全景	19	写真46	土師器出土状況	43
写真20	土層断面	19	写真47	I区全景(南西から)	46
写真21	調査地全景	20	写真48	II区全景(東から)	46
写真22	掘削状況	20	写真49	III区全景(北から)	47
写真23	調査地全景	21	写真50	調査区全景(西から)	49
写真24	掘削状況	21	写真51	調査区全景(北から)	49
写真25	土層断面	22	写真52	土塁崩落状況(東から)	52
写真26	調査状況	26	写真53	土塁修復状況(東から)	52
写真27	調査地全景	28			

表 目 次

第1表	令和4年度93・94条の届出一覧	2～7	第5表	鬼城山の来訪者数	9
第2表	令和4年度92条の届出件数一覧	8	第6表	総社市埋蔵文化財学習の館来館者数	9
第3表	令和4年度発掘調査件数一覧	8	第7表	令和4年度普及啓発一覧	9
第4表	令和4年度試掘・確認調査件数一覧	8			

1. 総社市埋蔵文化財行政の概要

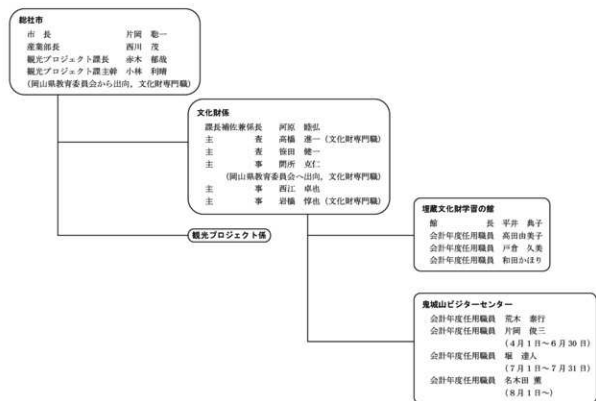
令和4(2022)年度 埋蔵文化財行政の概要

埋蔵文化財の調査

令和4年度の各種事業における現地調査等は、文化財専門職員3人で対応した(第1図)。総社市は、周知の埋蔵文化財包蔵地の数が県下でも岡山市に次いで2番目に多い自治体である。それに比例し、各種開発行為による対応件数も多い。

令和4年度の周知の埋蔵文化財包蔵地内における開発事業に関する文化財保護法第93条の届出及び94条の通知は、合計で229件を数える。県からの指示内容の内訳は、工事立会が197件、慎重工事が28件、発掘調査4件である。開発行為の種別は、道路が2件、住宅建築が86件、宅地造成が65件、電柱新設が62件、その他の開発行為によるものが14件となる。

発掘調査には、民間開発事業に伴い行った阿弥陀遺跡や真壁遺跡、都市計画道路刑部・三須線建設に伴う清水角遺跡の発掘調査等がある。その概要は「3. 発掘調査の概要」に記載した。また、試掘確認調査は、井尻野遺跡等の計4件を行い、いずれも民間開発事業関連の開発である。詳細は「2. 立会・試掘・確認調査の概要」に記載した。



第1図 令和4年度組織図

第1表 令和4年度93・94条の届出一覧

番号	受付日	文書番号	請 勝 名	地 番	主要用途	対応	備 考
1	R4.4	観第2号	延道路	井手字袋ノ東210-7, 210-20	宅地造成工事	立会	
2	R4.3.29	観第3号	大文字道跡	南溝手305-1地内	電柱建柱工事	立会	包含層に相当する層は確認したものの遺物なし
3	R4.3.31	観第4号	中村道跡	総社二丁目554-4～584-2	電柱建柱工事	立会	GL-1.00mまで確認 遺構・遺物確認できず
4	R4.3.31	観第5号	真壁道跡	中央四丁目1-110付近	電柱建柱工事	立会	GL-1.00mまで確認 遺構・遺物確認できず
5	R4.7	観第12号	阿弥陀道跡	真壁字阿弥陀1157-1, 1157-3, 1156-6～1156-8, 1155-12, 1155-16, 1155-18	分譲住宅地 宅地造成	発掘調査	
6	R4.6	観第13号	名称未定	上林1095-1	公衆電話撤去工事	立会	
7	R4.4.11	観第19号	金井戸新田道跡	井手字荒神1233-1の一部	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
8	R4.4.8	観第20号	明治池開田道跡	地頭片山187-18	電柱撤去工事	立会	GL-1.00mまで確認 遺構・遺物確認できず
9	R4.4.14	観第26号	北溝手道跡	南溝手字天神190-9	宅地造成工事	立会	GL-0.40m～0.50mで包含層土質確認
10	R4.4.14	観第27号	北溝手道跡	南溝手字天神190-8, 190-10	宅地造成工事	立会	GL-0.40m～0.50mで包含層土質確認
11	R4.4.11	観第28号	名称未定	宿1724	電柱建設工事	立会	GL-1.00mまで確認 遺構・遺物確認できず
12	R4.4.8	観第29号	後ノ城道跡	中央一丁目8-18地内	支線撤去工事	立会	GL-1.00mまで確認 遺構・遺物確認できず
13	R4.4.15	観第30号	名称未定	藪字大前3347-8, 3348-6	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
14	R4.4.19	観第34号	大文字道跡	南溝手字新町北内305-9, 305-10	個人住宅建設工事	立会	GL-2.05mの掘削 造成土直下より年代不詳の土層出土
15	R4.4.20	観第35号	延道路	井手字西延509-3, 510-3	宅地造成工事	立会	GL-1.00mまで確認 遺構・遺物確認できず
16	R4.4.21	観第40号	すりばち池2号 墳はか	泉15-1～小寺1562-3	電柱建柱工事	立会	GL-0.80mまで確認 遺構・遺物確認できず
17	R4.4.21	観第41号	延道路	井手字袋ノ東210-6外	個人住宅建設工事	立会	GL-0.80mまで確認 遺構・遺物確認できず GL-0.56mで鉄分の沈着確認
18	R4.4.20	観第47号	真壁道跡	中央六丁目10-105	宅地造成工事	立会	遺構・遺物確認できず
19	R4.4.25	観第50号	窪木道跡	窪木字前場661-5	宅地造成工事	立会	GL-1.60mの掘削 遺構・遺物確認できず
20	R4.4.28	観第54号	名称未定	宿字田中1724-1	宅地造成工事	立会	GL-0.80mまで確認 遺構・遺物確認できず
21	R4.5.2	観第56号	井手天草道跡	金井戸字天神前207-4, 207-6	宅地造成工事	立会	GL-0.60mの掘削 遺構・遺物確認できず
22	R4.4.26	観第62号	藪田古墳群	見延字藪田1673-3	電柱建柱工事	立会	遺構・遺物確認できず
23	R4.4.27	観第63号	錆物師谷道跡	清音三因959-3	電柱建柱工事	立会	造成土直下で地山を確認 遺構・遺物確認できず
24	R4.4.29	観第67号	三輪道跡群	駅南二丁目21-9, 21-8各一部	個人住宅建設工事	立会	
25	R4.5.12	観第69号	緑山古墳群	上林字山本330-2	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
26	R4.5.9	観第70号	宿古墳群	宿206-3地先	電柱建柱工事	立会	遺構・遺物確認できず
27	R4.5.12	観第72号	長砂古墳群	久代2812-68	個人住宅建設工事	慎重工事	
28	R4.5.13	観第73号	井手見延道跡	井手字見延806-5	宅地造成工事	立会	GL-0.65mの掘削 遺構・遺物確認できず
29	R4.5.13	観第74号	井手村後道跡	井手字水落ノ上877-7	宅地造成工事	立会	
30	R4.5.13	観第75号	井手見延道跡	井手字見延806-7, 806-8	宅地造成工事	立会	GL-0.65mの掘削 遺構・遺物確認できず
31	R4.5.12	観第79号	金井戸浦崎道跡	金井戸440-1地先	電柱建柱工事	立会	GL-2.00mの掘削 遺構・遺物確認できず
32	R4.5.13	観第80号	井尻野道跡 井尻野古墳群	井尻野字山ノ端1164-1地内	電柱建柱工事	慎重工事	
33	R4.5.17	観第81号	名称未定	藪3348-6, 3347-2地内	電柱建柱工事	立会	
34	R4.5.17	観第82号	錆物師谷道跡	清音三因字北山内959-4, 959-5	宅地造成工事	立会	GL-0.65mの掘削 遺構・遺物確認できず GL-0.56mから鉄分の沈着を確認
35	R4.5.18	観第85号	神明道跡	福井字田中158-1, 158-3	宅地造成工事	立会	GL-0.70mの掘削 遺構・遺物確認できず
36	R4.5.16	観第86号	三輪道跡群	駅南二丁目32-8地先	電柱建柱工事	立会	造成土内に収まる
37	R4.5.17	観第87号	井尻野道跡	総社市井尻野1427-1	電柱建柱工事	立会	遺構・遺物確認できず

番号	受付日	文書番号	道 跡 名	地 番	主要用途	対応	備 考
38	R4.5.20	観第90号	名称未定	西郡字土井ノ下958-1, 958-8, 960-1	電柱建柱工事	立会	GL-100mの掘削 遺構・遺物確認できず
39	R4.5.20	観第91号	井尻野道跡	井尻野字前田1164-1, 1165, 1166, 1167, 1168	宅地造成工事	慎重 工事	
40	R4.5.30	観第101号	延道跡	井手字延ノ内454の一部	個人住宅建設工事	立会	GL-090mの掘削 GL-040m以下から礎層が 続く 遺構・遺物確認できず
41	R4.5.26	観第102号	北清手道跡	北清手238-4地先	電柱建柱工事	立会	GL-100mで地山に到達 GL-070mで微高地と想定で きる層を確認
42	R4.6.6	観第113号	三須富田道跡	三須字オノ神1230-3, 1230-4	宅地造成工事	立会	GL-070mの掘削し、礎層を 確認
43	R4.6.6	観第114号	大文字道跡	南溝手字新町南406-6, 406-7	宅地造成工事	立会	GL-095mの掘削 表土直下で土器片、炭屑を確認
44	R4.6.7	観第124号	延道跡	井手字折掛303-1, 303-18, 303-20, 303-21	宅地造成工事	立会	
45	R4.6.6	観第127号	井手村後道跡	井手字村後1060-5	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
46	R4.6.13	観第130号	三須富田道跡	三須字オノ神1231-7, 1231-8	個人住宅建設工事	立会	GL-170mの掘削 遺構・遺物確認できず
47	R4.6.20	観第135号	阿弥陀道跡	真壁字王子段1148-8, 1148-9, 1149-1	宅地造成工事	発掘 調査	
48	R4.6.21	観第139号	小寺道跡	門田字下田82-3	個人住宅建設工事	慎重 工事	
49	R4.6.21	観第140号	明治池周辺道跡	地面片山字宮ノ西96-10	個人住宅建設工事	立会	造成土内に収まる掘削
50	R4.6.21	観第141号	金井戸天原道跡	金井戸字南国町東386-9, 386-10	宅地造成工事	立会	GL-050mの掘削 遺構・遺物確認できず
51	R4.6.20	観第142号	三輪道跡群	中央六丁目8-110	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
52	R4.6.21	観第143号	井尻野道跡	井尻野字前田1375-12	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
53	R4.6.27	観第148号	石原後道跡	中央一丁目22-105	個人住宅建設工事	立会	
54	R4.6.24	観第154号	神明道跡	福井字田中156付近	電柱建柱工事	立会	遺構・遺物確認できず
55	R4.6.27	観第155号	三輪道跡群	中央六丁目8-110地先	電柱建柱工事	立会	遺構・遺物確認できず
56	R4.6.29	観第159号	延道跡	井手字袋ノ東210-16	個人住宅建設工事	立会	
57	R4.7.6	観第160号	中林道跡	下林字中林251-1, 251-4, 251-5, 253-1, 256-1, 256-2, 256-4, 256-5	宅地造成工事	立会	GL-060mの掘削 遺構・遺物確認できず
58	R4.7.6	観第161号	井手見延道跡	井手字見延806-5	個人住宅建設工事	立会	GL-180mの掘削 GL-060mで炭を含む層を確認 遺構・遺物確認できず
59	R4.7.4	観第162号	貫夜庵寺 (檀寺庵寺跡)	南溝手296-2	電柱建柱工事	立会	
60	R4.7.5	観第171号	金井戸鴻崎道跡	井手806-5	電柱建柱工事	立会	GL-110mの掘削 遺構・遺物確認できず
61	R4.7.8	観第172号	中林道跡	下林字中林366-1	個人住宅建設工事	立会	GL-050mの掘削 遺構・遺物確認できず
62	R4.7.7	観第173号	延道跡	井手501-1, 502-2	電柱建柱工事	立会	
63	R4.7.6	観第174号	角力取山道跡	岡谷260-4	電柱建柱工事	立会	遺構・遺物確認できず
64	R4.7.15	観第178号	軽部道跡	清音軽部字畑田691-1	個人住宅建設工事	立会	GL-080mの掘削 遺構・遺物確認できず
65	R4.7.13	観第181号	名称未定	清音三田104-1	電柱撤去工事	立会	
66	R4.7.14	観第183号	作山古墳	三須字作山244, 244-1, 244-2, 246の各 一部	宅地造成工事	立会	GL-080mの掘削 遺構・遺物確認できず
67	R4.7.19	観第185号	名称未定	桑字大前3304-7	個人住宅建設工事	慎重 工事	
68	R4.7.22	観第187号	軽部道跡	清音軽部字上新田721-9	宅地造成工事	立会	GL-060mの掘削 遺構・遺物確認できず
69	R4.7.25	観第189号	三輪道跡群	駅南二丁目32-2	住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
70	R4.7.26	観第192号	大文字道跡	南溝手303-1	電柱撤去工事	立会	遺構・遺物確認できず
71	R4.7.27	観第197号	井手見延道跡	井手字いばりご216-1	宅地造成工事	立会	GL-060mの掘削 遺構・遺物確認できず
72	R4.8.2	観第199号	井手見延道跡	井手字いばりご216-6, 916-7	個人住宅建設工事	立会	GL-060mの掘削 遺構・遺物確認できず
73	R4.8.2	観第200号	大文字道跡	南溝手字高木444-1	宅地造成工事	立会	
74	R4.8.3	観第209号	北清手道跡	北清手字村曲り245-1, 242-6	宅地造成工事	立会	
75	R4.8.4	観第216号	宝福寺跡	井尻野1968-1, 1969-2, 1964, 1965, 1965	防犯設備設置工事	立会	
76	R4.8.3	観第222号	三須庵寺 延道跡	三須1318-1地先, 総社市井手198-3	接地権埋設工事	立会	GL-120mの掘削 遺構・遺物確認できず

番号	受付日	文書番号	道 路 名	地 番	主要用途	対応	備 考
77	R4.8	観第223号	延道跡	井手字袋ノ東210-7, 210-20	個人住宅建設工事	立会	GL-0.50mの掘削 遺構・遺物確認できず
78	R4.8	観第226号	三須畠田道跡	三須1227-15地先	電柱建柱工事	立会	
79	R4.10	観第227号	延道跡	井手字西延501-2, 501-4, 502-4, 512-3, 512-4, 512-5, 501-2地先~501-4地先	宅地造成工事	立会	GL-0.90mの掘削 GL-0.30m付近で礎層を確認 遺構・遺物確認できず
80	R4.12	観第234号	清水角道跡	井手604-1,605-1	市道敷設工事	発掘調査	
81	R4.15	観第236号	明治池周回遊路	地面片山字宮ノ西96-7	個人住宅建設工事	慎重工事	
82	R4.16	観第240号	金井戸天草道跡	金井戸字洞ノ底344-1, 345-1	宅地造成工事	立会	
83	R4.24	観第251号	金井戸天草道跡	金井戸字南国府東370-3, 370-4	宅地造成工事	立会	
84	R4.26	観第256号	金井戸新田道跡	金井戸1663-1, 1663-5	宅地造成工事	立会	GL-0.60mの掘削 遺構・遺物確認できず
85	R4.26	観第257号	金井戸新田道跡	金井戸1663-3, 1663-4, 1663-6	宅地造成工事	立会	GL-0.60mの掘削 遺構・遺物確認できず
86	R4.26	観第258号	延道跡	井手字西延509-3,510-3	個人住宅建設工事	立会	GL-1.80mの掘削 GL-1.00mで田河道を確認 遺構・遺物確認できず
87	R4.26	観第259号	井手村後道跡	井手字オノ前1024-2, 1024-3	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
88	R4.29	観第260号	上原道跡	上原字福田222-1	宅地造成工事	立会	
89	R4.29	観第261号	上原道跡	富原字中道888-7	個人住宅建設工事	立会	
90	R4.26	観第263号	金井戸新田道跡	総社字金井戸地内	電柱建柱工事	立会	GL-1.70mの掘削 表土直下で包含層を確認 包含層以下は砂質土が続く
91	R4.30	観第264号	窪本宮後道跡	窪本字西ノ鼻753-1, 752-2	個人住宅建設工事	立会	
92	R4.31	観第267号	真壁道跡	中央四丁目23-103, 23-108, 23-109	宅地造成工事	発掘調査	
93	R4.9	観第270号	三輪道跡群	駅南二丁目25-1, 25-22	集合住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
94	R4.9	観第271号	上原道跡	富原字近政383-4	宅地造成工事	立会	GL-0.70mの掘削 遺構・遺物確認できず
95	R4.9	観第273号	西山古墳群	総社2484-1,1946等	市道延縮工事	立会	
96	R4.9	観第274号	天満道跡	三須817-2-地先	電柱建柱工事	立会	
97	R4.9	観第275号	延道跡	井手331-1	電柱建柱工事	立会	GL-1.00mの掘削 遺構・遺物確認できず
98	R4.9	観第276号	天満道跡	三須字天満778-1	個人住宅建設工事	立会	GL-0.50mで岩盤層に到達する
99	R4.13	観第279号	三輪道跡群	駅南二丁目27-19, 27-20	個人住宅建設工事	立会	
100	R4.15	観第293号	岡ノ木道跡	駅南二丁目13-118	個人住宅建設工事	立会	
101	R4.20	観第294号	北講手道跡	南講手字天神190-9	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
102	R4.15	観第298号	真壁道跡	中央四丁目23-103, 23-108, 23-109	電柱建柱工事	立会	
103	R4.20	観第299号	井尻野道跡	井尻野字前田1375-16	個人住宅建設工事	立会	
104	R4.20	観第303号	三輪道跡群	駅南二丁目30-17付近	接地体埋設工事	立会	
105	R4.21	観第307号	荒神ノ市道跡	駅南一丁目2-9号地先	接地体埋設工事	立会	GL-0.70mの掘削 遺構・遺物確認できず
106	R4.29	観第312号	三輪道跡群	駅南二丁目12-1	宅地造成工事	立会	
107	R4.29	観第313号	三輪道跡群	駅南二丁目16-24	宅地造成工事	立会	GL-0.85mの掘削 遺構・遺物確認できず
108	R4.9	観第318号	延道跡	井手字西延509-5, 510-5	宅地造成工事	立会	GL-0.50mの掘削 遺構・遺物確認できず
109	R4.10	観第319号	馬首城跡	新本2231	標柱設置工事	立会	
110	R4.10	観第325号	早瀬道跡	井手字西延507-5	宅地造成工事	立会	GL-0.60mの掘削 GL-0.50mで遺構面に到達
111	R4.10	観第326号	井尻野西村道跡	井尻野304-2付近	電柱建柱工事	立会	GL-1.05mの掘削 遺構・遺物確認できず
112	R4.10	観第327号	井手村後道跡	井手字延ノ東424-1, 424-10	宅地造成工事	立会	GL-1.00mの掘削 遺構・遺物確認できず
113	R4.10	観第328号	清水角道跡	総社字互反地1360-4の一部	個人住宅建設工事	立会	
114	R4.10	観第331号	神明道跡	福井字田中158-1, 158-3	個人住宅建設工事	立会	
115	R4.10.11	観第332号	宮後道跡	総社字宮西812-6	集合住宅建設工事	立会	GL-0.90mの掘削 遺構・遺物確認できず
116	R4.10.11	観第335号	井手村後道跡	井手865付近	電柱建柱工事	立会	GL-0.90mの掘削 遺構・遺物確認できず
117	R4.10.11	観第336号	延道跡	井手201-7 他	電柱建柱工事	立会	
118	R4.10.7	観第337号	丸尾古墳群	新本字一倉1908	電柱建柱工事	立会	
119	R4.10.12	観第342号	清水角道跡	総社1013 付近	電柱建柱工事	立会	GL-0.80mで地山に到達 遺構・遺物確認できず

番号	受付日	文書番号	遺跡名	地番	主要用途	対応	備考
120	R4.10.11	観第343号	井手見尾遺跡	井手916-1	電柱建柱工事	立会	GL-1.35mの掘削 遺構・遺物確認できず
121	R4.10.13	観第344号	金井戸大原遺跡	金井戸206-3地先	電柱建柱工事	立会	
122	R4.10.17	観第345号	金井戸大原遺跡	金井戸字南国府東370-3	個人住宅建設工事	慎重 工事	
123	R4.10.18	観第347号	筒物師谷遺跡	清音三因959-4, 959-5	個人住宅建設工事	慎重 工事	
124	R4.10.19	観第353号	三輪遺跡群	中央六丁目28-11	個人住宅建設工事	慎重 工事	
125	R4.10.24	観第360号	尾遺跡	井手字清水川331-1	宅地造成工事	立会	GL-0.70mの掘削 表土直下で少量の土器片、GL -0.45m以下で時期不詳の土器 片出土
126	R4.10.21	観第361号	金井戸滝崎遺跡	金井戸448-1地先	電柱建柱工事	立会	GL-1.60mの掘削 GL-1.00m以下は河道の様相 を示す 遺構・遺物確認できず
127	R4.10.25	観第366号	井尻野西村遺跡	井尻野305-2, 306-1	宅地造成工事	立会	GL-0.40mの掘削 遺構・遺物確認できず
128	R4.10.28	観第369号	井尻野西村遺跡	井尻野305-2, 306-1	個人住宅建設工事	立会	
129	R4.10.31	観第370号	金井戸大原遺跡	金井戸字天神前305-1	個人住宅建設工事	立会	
130	R4.11.1	観第372号	井手村後遺跡	井手字水落ノ上877-7	個人住宅建設工事	立会	
131	R4.11.1	観第379号	三輪遺跡群	駅南二丁目5-30	個人住宅建設工事	慎重 工事	
132	R4.10.14	観第383号	賀夜庵寺 (栢寺庵寺跡)	南講手字栢寺元295-28, 295-29, 295-40	宅地造成工事	立会	GL-0.55mの掘削 表土直下で土器片、炭を確認
133	R4.11.1	観第392号	井尻野遺跡	井尻野1163	電柱建柱工事	慎重 工事	
134	R4.11.7	観第393号	井尻野遺跡	井尻野字山ノ福1163	宅地造成工事	立会	
135	R4.11.7	観第394号	広峰遺跡	小寺字戸口402	宅地造成工事	立会	GL-0.85mの掘削 遺構・遺物確認できず
136	R4.11.7	観第396号	小寺遺跡	総社一丁目字小市成369-1	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
137	R4.11.7	観第397号	小寺遺跡	総社一丁目字小市成369-2	個人住宅建設工事	立会	GL-1.00mの掘削 遺構・遺物確認できず
138	R4.11.8	観第398号	筒物師谷遺跡	清音三因字北山西962	個人住宅建設工事	慎重 工事	
139	R4.11.7	観第399号	三輪遺跡群	真壁17-23地先	接地構埋設工事	立会	GL-0.75mの掘削 遺構・遺物確認できず
140	R4.11.7	観第400号	下軽部遺跡	清音軽部1512-1	接地構埋設工事	立会	GL-0.70mの掘削 遺構・遺物確認できず
141	R4.11.14	観第401号	長砂古墳群	久代5212-79	個人住宅建設工事	慎重 工事	
142	R4.11.14	観第402号	宿寺山古墳	宿寺寺ノ西566-8, 566-9, 566-10	宅地造成工事	立会	R5年度に立会
143	R4.11.16	観第404号	名称未定	清音三因字安家寺104-1, 104-3, 105-1, 108-3	個人住宅建設工事	立会	GL-1.00mの掘削 遺構・遺物確認できず
144	R4.11.17	観第407号	露上山古墳群	赤浜字折敷山下538-1, 539-1, 540-1, 550-4の一部	駐車場造成工事	立会	GL-0.45mの掘削 遺構・遺物確認できず
145	R4.11.17	観第408号	大文字遺跡	南講手字高木446-12, 446-13, 446-14	宅地造成工事	立会	R5年度に立会
146	R4.11.17	観第409号	金井戸滝崎遺跡	金井戸字東滝崎449-5	宅地造成工事	立会	GL-0.85mの掘削 遺構・遺物確認できず
147	R4.11.15	観第412号	尾遺跡	井手496-7地先	電柱建柱工事	立会	GL-1.60mの掘削 遺構・遺物確認できず
148	R4.11.16	観第413号	北講手遺跡	北講手243-10	電柱建柱工事	立会	
149	R4.11.22	観第422号	尾遺跡	井手303-7	電柱建柱工事	立会	GL-1.50mの掘削 遺構・遺物確認できず
150	R4.11.30	観第429号	尾遺跡	井手字西尾500-5	個人住宅建設工事	立会	
151	R4.12.1	観第430号	金井戸大原遺跡	金井戸字洞ヶ淵344-1, 345-1	個人住宅建設工事	立会	
152	R4.11.29	観第441号	久代折神遺跡	久代字横田宮東3748, 3756-2	電柱建柱工事	立会	
153	R4.11.30	観第442号	明治池周辺遺跡	地頭片字宮ノ西96-7地先	支線埋設工事	慎重 工事	
154	R4.12.5	観第443号	窪木遺跡	窪木字西ノ鼻881-9, 881-10	宅地造成工事	立会	GL-0.50mの掘削 遺構・遺物確認できず
155	R4.12.5	観第444号	窪木遺跡	窪木字西ノ鼻882-11	宅地造成工事	立会	GL-0.40mの掘削 遺構・遺物確認できず
156	R4.12.6	観第445号	尾遺跡	井手字西尾492-2, 492-6, 492-7	宅地造成工事	立会	GL-0.50mの掘削 開発予定地北西側で微高地と 考えられる土層を確認 GL-0.30mで層相を確認

番号	交付日	文書番号	道 路 名	地 番	主要用途	対応	備 考
157	R4.8.31	観第446号	金井戸大塚道跡	金井戸字御所313-1	宅地造成工事	立会	
158	R4.12.6	観第447号	井手見尾道跡	井手字見尾785-5、785-6	宅地造成工事	立会	GL-0.65mの掘削 開発予定地東側でGL-0.35m で微高地と考えられる土層を 確認
159	R4.12.9	観第448号	井手見尾道跡	井手字水落ノ上876-9	個人住宅建設工事	立会	GL-0.60mの掘削 遺構・遺物確認できず
160	R4.12.7	観第449号	坂井砂俣奥跡道跡	久代1408-8地先外	電柱建柱工事	立会	
161	R4.12.9	観第450号	大文字道跡	南溝手字三軒屋265-1、265-19、265-20	宅地造成工事	立会	
162	R4.12.13	観第451号	角力取山道跡	岡谷字山ノ端260-3、260-4、260-5	個人住宅建設工事	立会	
163	R4.12.12	観第461号	宮後道跡	総社字宮西812-6地先	電柱建柱工事	立会	GL-1.00mの掘削 遺構・遺物確認できず
164	R4.12.15	観第463号	井手見尾道跡、 金井戸大塚道跡	金井戸431-1地先外	電柱建柱工事	立会	遺構・遺物確認できず
165	R4.12.19	観第464号	大文字道跡	南溝手字新町北西305-11、305-12	宅地造成工事	立会	表土直下で遺物包含層を確認 土器、瓦出土
166	R4.12.22	観第477号	井手見尾道跡	井手916-1	個人住宅建設工事	立会	
167	R4.12.21	観第480号	坂井砂俣奥跡道跡	久代1408-9、1424-8	掘削埋設工事	立会	遺構・遺物確認できず
168	R4.12.23	観第481号	早溝道跡	総社三丁目970-2	屋外広告物 設置工事	立会	
169	R4.12.23	観第482号	三輪道跡群	駅南一丁目28-1	屋外広告物 設置工事	立会	
170	R4.12.28	観第490号	福井字大塚古墳群	福井字大塚1600-148	個人住宅建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
171	R4.12.28	観第491号	前池周辺道跡	宿字前池尻1030-1、1030-4	宅地造成工事	立会	GL-1.00mの掘削 遺構・遺物確認できず
172	R4.12.28	観第492号	金井戸新田道跡	総社字金井戸1663-1	個人住宅建設工事	立会	
173	R4.12.26	観第493号	龜王古墳群	宿1968、1960-3、1960-4	電柱撤去工事	立会	
174	R5.1.6	観第497号	窪木道跡	窪木字西ノ鼻882-11	個人住宅建設工事	立会	
175	R5.1.10	観第498号	中村道跡	総社二丁目先神西543-6の一部、 543-14の一部、543-15の一部	個人住宅建設工事	立会	
176	R5.1.6	観第501号	井手村後道跡	井手745-2、745-4、747-3-3地	電柱建柱工事	立会	
177	R5.1.12	観第506号	明治池周辺道跡	地頭片山字宮ノ西96-8	個人住宅建設工事	慎重 工事	
178	R5.1.13	観第507号	神明道跡	福井字重安129-7	宅地造成工事	立会	GL-0.60mの掘削 遺構・遺物確認できず
179	R5.1.13	観第511号	総社道跡	総社字因附1749-4	宅地造成工事	立会	
180	R5.1.16	観第512号	大文字道跡	南溝手字高木444-1	個人住宅建設工事	立会	
181	R5.1.16	観第514号	雲上山古墳群	赤浜500-11	工場建設工事	立会	遺構・遺物確認できず
182	R5.1.16	観第516号	基道跡	井手字西延509-5、510-5	個人住宅建設工事	立会	GL-0.50mの掘削 遺構・遺物確認できず
183	R5.1.18	観第521号	明治池周辺道跡	地頭片山字宮ノ西96-5	個人住宅建設工事	慎重 工事	
184	R5.1.19	観第522号	金井戸鴻崎道跡	金井戸字西鴻崎448-8	宅地造成工事	立会	GL-0.15mで包含層を確認
185	R5.1.19	観第523号	金井戸新田道跡	井手字住地1187-9	個人住宅建設工事	立会	
186	R5.1.20	観第525号	北溝手道跡、 南溝手道跡	南溝手字天神188-4191-7	市道拡幅工事	立会	GL-0.30mで包含層を確認 開発予定地西側60.0mの範囲で 遺構検出。遺構面から発生土 器が多量に出土
187	R5.1.17	観第533号	上原道跡	上原字福田222-1	電柱建柱工事	立会	
188	R5.1.20	観第534号	真壁道跡	真壁128-1号地先	電柱建柱工事	立会	GL-1.60mまでの掘削 遺構及び遺物確認できず
189	R5.1.23	観第535号	金井戸新田道跡	総社字金井戸1662-1	宅地造成工事	立会	GL-0.45mまでの掘削 GL-0.30mで旧河川の痕相を 呈するが北側でのみ耕作土直 下で微高地相当の土質を確認
190	R5.1.23	観第536号	基道跡	井手字袋ノ東210-6、210-23	個人住宅建設工事	立会	GL-1.00mの掘削 遺構・遺物確認できず
191	R5.1.25	観第537号	三輪道跡群	駅南二丁目12-1	個人住宅建設工事	立会	
192	R5.1.20	観第539号	岡谷城跡	岡谷922-1、923-1、900-1、902、932- 2、933、941-1	家庭解体工事	立会	R5年度に立会
193	R5.1.27	観第542号	塩田道跡	下倉字シノ木3209	アンテナ設置工事	立会	GL-1.00mまでの掘削 遺構及び遺物確認できず
194	R5.1.25	観第546号	井手見尾道跡	井手789-1地先	電柱建柱工事	立会	R5年度に立会
195	R5.1.27	観第547号	真壁道跡	中央五丁目2-103	屋外広告物 設置工事	立会	GL-1.00mまでの掘削 遺構・遺物確認できず
196	R5.1.31	観第550号	基道跡	井手字八反地191-10、191-11	宅地造成工事	立会	

番号	受付日	文書番号	遺跡名	地番	主要用途	対応	備考
197	R5.1.31	観第551号	延造跡	井手字八反地191-1, 191-8	宅地造成工事	立会	R5年度に立会
198	R5.2.1	観第552号	神明遺跡	福井181-1	屋外広告物設置工事	立会	
199	R5.2.13	観第575号	金井戸溝崎遺跡	金井戸449-5	個人住宅建設工事	慎重工事	
200	R5.2.7	観第577号	井尻野遺跡	井尻野1355付近	電柱建柱工事	立会	GL-1.80mまでの掘削 GL-0.80m以下は旧河道の様相を呈する
201	R5.2.16	観第583号	中林遺跡	下林字中林251-1, 251-4, 251-5, 253-1, 256-1, 256-2, 256-4, 256-5	個人住宅建設工事	立会	R5年度に立会
202	R5.2.16	観第584号	延造跡	井手字折掛303-1, 303-18, 303-20, 303-21	個人住宅建設工事	慎重工事	
203	R5.2.16	観第585号	金井戸大原遺跡	金井戸字南国府東386-9, 386-10	個人住宅建設工事	立会	R5年度に立会
204	R5.2.17	観第586号	名称未定	福谷1559-3, 1557-2, 1556-4, 1564-1, 1567, 1570-9, 1570-19	電柱建柱工事及び電柱撤去工事	慎重工事	
205	R5.2.20	観第587号	小寺遺跡	小寺1991-1	個人住宅建設工事	慎重工事	
206	R5.2.21	観第588号	三輪遺跡群	駅南二丁目27-19, 27-20	個人住宅建設工事	立会	
207	R5.2.27	観第591号	跡上遺跡	総社三日目11-1	家屋解体工事	立会	遺構・遺物確認できず
208	R5.2.27	観第592号	福井大塚古墳群	福井字大塚1600-123	個人住宅建設工事	慎重工事	
209	R5.2.28	観第593号	新田古墳群	泉9-5	個人住宅建設工事	慎重工事	
210	R5.3.3	観第597号	真壁遺跡	中央四丁目26-121	個人住宅建設工事	慎重工事	
211	R5.3.3	観第598号	三須遺跡群	三須字中所1350-3	個人住宅建設工事	立会	R5年度に立会
212	R5.3.3	観第599号	三須遺跡群	三須字中所1350-5	個人住宅建設工事	立会	R5年度に立会
213	R5.3.6	観第600号	三輪遺跡群	駅南一丁目33-10	個人住宅建設工事	立会	R5年度に立会
214	R5.3.6	観第605号	下林古墳群	赤浜字西谷787の一部	個人住宅建設工事	立会	GL-0.30mの掘削 遺構・遺物確認できず
215	R5.3.8	観第606号	久代折神遺跡	久代字南ヶ市4222-1	宅地造成工事	立会	
216	R5.3.10	観第609号	軽部遺跡	清音軽部字西町257, 260-2	農業用倉庫建設	立会	R5年度に立会
217	R5.3.10	観第611号	大薄遺跡	岡谷字九文館13-1, 14-1, 16-1, 23	店舗建替工事	立会	
218	R5.3.14	観第614号	中村遺跡	総社二丁目字荒神西543-6の一部, 543-14の一部, 543-15の一部	個人住宅建設工事	慎重工事	
219	R5.3.20	観第625号	三輪遺跡群	駅南二丁目5-28	個人住宅建設工事	慎重工事	
220	R5.3.20	観第636号	神明遺跡	福井字神明231-1	屋外広告物設置工事	立会	R5年度に立会
221	R5.3.22	観第627号	上原遺跡	富原字近政383-4	個人住宅建設工事	立会	R5年度に立会
222	R5.3.23	観第635号	金井戸大原遺跡	金井戸字河ヶ原344-9, 344-13	宅地造成工事	立会	R5年度に立会
223	R5.3.24	観第636号	真壁遺跡	真壁字出之台149-3	宅地造成工事	立会	R5年度に立会
224	R5.3.23	観第642号	賀夜庵寺 (栢寺庵寺跡)	南講手296-28	電柱建柱工事	立会	R5年度に立会
225	R5.3.28	観第646号	阿弥陀遺跡	真壁字阿弥陀1135-19	個人住宅建設工事	慎重工事	
226	R5.3.28	観第647号	阿弥陀遺跡	真壁字阿弥陀1135-20	個人住宅建設工事	慎重工事	
227	R5.3.28	観第648号	阿弥陀遺跡	真壁字阿弥陀1135-21	個人住宅建設工事	慎重工事	
228	R5.3.20	観第653号	賀夜庵寺 (栢寺庵寺跡)	南講手栢寺元296-20外9筆	宅地造成工事	立会	R5年度に立会
229	R5.3.28	観第658号	下林古墳群	赤浜777, 778-1, 778-2	電柱建柱工事	立会	

第2表 令和4年度92条の届出件数一覧

番号	遺跡名	地番	調査主体	調査契機	調査期間	調査面積
1	壽尾塚古墳	総社市下林字壽尾539-2、540	岡山大学	学術研究	令和4年8月18日～令和4年9月20日	48㎡
2	壽尾塚古墳	総社市下林字壽尾539-2、540	岡山大学	学術研究	令和5年2月18日～令和5年3月20日	22㎡

第3表 令和4年度発掘調査件数一覧

番号	遺跡名	地番	調査契機	調査期間	調査面積
1	阿弥陀遺跡	総社市真壁字王子後1148-8、1148-9、1149-1	宅地造成	令和4年5月30日～令和4年7月15日	490㎡
2	真壁遺跡	総社市中央四丁目23-103、23-108、23-109	宅地造成	令和4年10月19日～令和4年10月31日	75㎡
3	清水角遺跡	総社市井字604-1、605-1	市道	令和4年8月18日～令和4年11月15日	540.48㎡

第4表 令和4年度試掘・確認調査件数一覧

番号	遺跡名	地番	調査契機	調査期間	調査面積
1	阿弥陀遺跡	真壁字王子後1148-8、1148-9、1149-1	宅地造成	令和4年4月21日～令和4年4月27日	10㎡
2	井尻野遺跡	井尻野字前田1164-1、1165、1166、1167、1168 井尻野字山ノ廻1163	宅地造成	令和4年5月20日	15㎡
3	遺跡外	岡谷字馬通543、548-1、549	その他建物	令和4年6月20日	9㎡
4	広峰遺跡	小寺字川原420-1、431-1、432-1	宅地造成	令和5年3月1日	6㎡

普及啓発活動

令和4年度では、埋蔵文化財関連図書として令和3年度の埋蔵文化財行政の概要をまとめた『総社市埋蔵文化財調査年報』32、「一丁塊15号墳」の発掘調査報告書を刊行した。

鬼城山の来訪者は61,428人で令和3年度と比較し12,072人の増加である。

総社市埋蔵文化財学習の館の来館者は612人であり、令和3年度と比較し257人の増加である。

新型コロナウイルス感染症の流行状況により来訪者数及び来館者数の増減はあるものの、緊急事態宣言の出された令和2・3年度と比較してその数はどちらも増加した。

また、職員と会計年度任用職員による講師派遣等の普及啓発は20件を実施した。

第5表 鬼城山の来訪者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	5,437	2,743	3,569	3,485	4,594	5,690	5,851	8,031	3,918	4,227	5,628	5,454	58,627
令和3年度	4,371	3,812	821	3,773	3,183	1,061	6,070	7,170	3,660	5,433	4,085	5,917	49,356
令和4年度	5,689	8,200	3,674	3,259	5,236	4,845	6,029	6,216	3,579	4,837	3,959	5,905	61,428

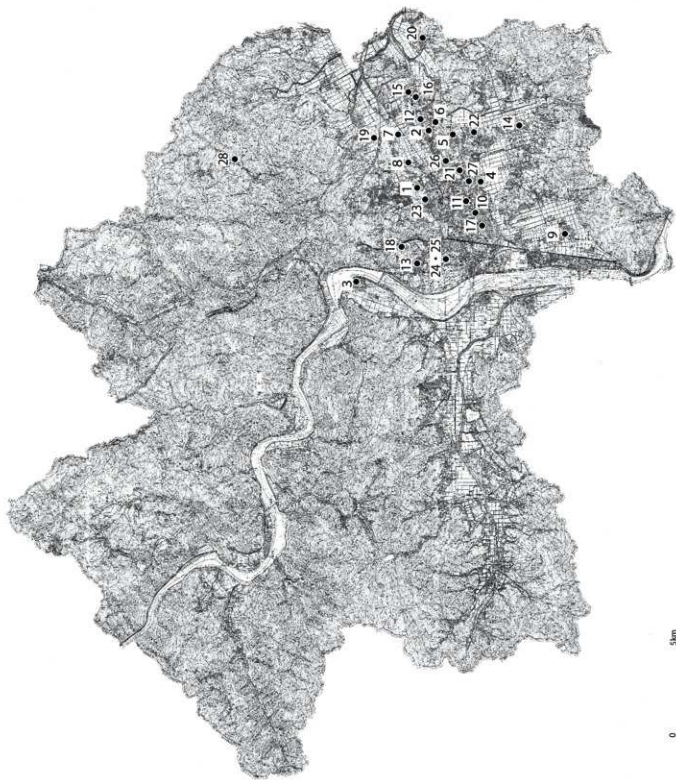
第6表 総社市埋蔵文化財学習の館来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	13	14	32	34	41	38	27	45	43	19	55	35	396
令和3年度	69	13	10	12	25	6	32	51	43	19	20	53	353
令和4年度	30	36	45	25	54	24	51	88	95	35	36	91	610

第7表 令和4年度普及啓発一覧

番号	日付	依頼者	内容	参加人数	担当者
1	令和4年5月25日	総社市（山手公民館）	道徳巡り「温厚伝説を訪ねて」	11	平井
2	令和4年7月10日	総社市（北分館）	玉作教室	20	高橋
3	令和4年7月24日	備前市教育委員会	トンボ玉ワークショップ	20	高橋 平井
4	令和4年8月7日	備前市教育委員会	鏡製作ワークショップ 講座「鏡の歴史について」	20	平井
5	令和4年8月21日	岡山歴史研究会	講演「終末期古墳」	60	平井
6	令和4年8月25日	岡山歴史学習塾	講演「吉備の古墳群と秦の古墳群」	60	平井
7	令和4年10月4日	総社市（生涯学習課）	講座「ふるさとの歴史を学ぶ」	19	平井
8	令和4年10月26日	総社市（観光プロジェクト課）	総社観光大学 講義「古代吉備の成立と繁栄」	21	平井
9	令和4年10月28日	総社市図書館	野外講座「津島道路を訪ねて」	15	平井
10	令和4年11月4日	総社市シルバー人材センター	総社市埋蔵文化財学習の館見学	27	平井
11	令和4年11月15日	総社市（東公民館）	講座「現代から見た弥生時代の暮らし」	25	平井
12	令和4年11月17日	総社市（清音公民館）	講座「古の総社」	29	平井
13	令和4年11月18日	岡山市（山南公民館）	講座「弥生時代の暮らし」	40	平井
14	令和4年11月26日	総社市図書館	講座「鬼ノ城の謎にせまる！！」	40	平井
15	令和4年12月3日	赤磐市教育委員会	玉作教室	8	高橋
16	令和4年12月7日	総社市（西公民館）	懇談会「ふるさとを知る」	26	平井
17	令和4年12月9日	岡山市（椋南公民館）	学習の館見学	26	平井
18	令和4年12月12日	服部幼稚園年長組	展示室説明	園児 16 引率 2	平井
19	令和5年2月26日	備前市教育委員会	鏡づくりワークショップ	20	平井
20	令和5年3月5日	県立博物館を誘致する会	古墳の話と造山古墳・作山古墳見学	見 童 保護者 13 9	平井

- 1 神明遺跡
- 2 井手見延遺跡
- 3 名称未定
- 4 延遺跡
- 5 三須遺跡群
- 6 井手見延遺跡
- 7 陸木遺跡
- 8 刑部遺跡
- 9 輕部遺跡
- 10 真壁遺跡
- 11 中村遺跡
- 12 金井戸天原遺跡
- 13 井尻野遺跡
- 14 岡谷地内試掘調査
- 15 陸木遺跡
- 16 賀夜庵寺 (栢寺庵寺跡)
- 17 三輪遺跡群
- 18 玉福寺跡
- 19 西山古墳群
- 20 折家山遺跡
- 21 早津遺跡
- 22 天満遺跡
- 23 広峰遺跡
- 24・25 阿弥陀遺跡
- 26 清水角遺跡
- 27 真壁遺跡
- 28 鬼城山



第2図 調査地位位置図 (S=1/200,000)

2. 立会・試掘・確認調査の概要

1. 国道180号線バイパス管工事に伴う立会調査

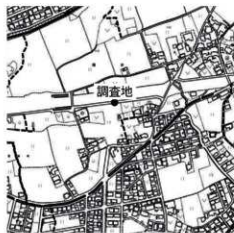
遺跡名 神明遺跡
調査地 総社市福井206地先
調査期間 令和4年(2022年)4月4日
調査面積 約2㎡

調査概要

今回の立会調査は、国道180号線バイパス側道に配電線を埋設する工事に伴って実施した。調査地は神明遺跡の範囲内にあり、隣接する国道180号線バイパス建設に伴う発掘調査が岡山県教育委員会によって実施されている。この時の調査では、弥生時代後期の住居址や建物などとともに銅鐸が出土していることが特筆される^註。

今回の調査では180号線バイパスの側道に配電線を埋設するため、約1×2mの範囲を掘削した。その結果、道路から約90cmまでは砕石が入れられており、それ以下約65cmまでは暗茶灰褐色土の微高地と考えられる土層が堆積していた。この調査地は神明遺跡が所在する微高地の推定存在範囲のほぼ中央付近にあることから、集落の中心付近に位置しているものと推定された。遺構・遺物は出土していない。(高橋)

註 岡山県教育委員会編 2019「神明遺跡・刑部遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』249 岡山県教育委員会



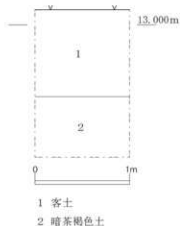
第3図 調査地位置図 (S=1/10,000)



写真1 調査地全景



写真2 土層断面



第4図 土層柱状図 (S=1/40)

2. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査

遺跡名 井手見延遺跡

調査地 総社市井手字水落ノ上876-8, 876-9

調査期間 令和4年(2022年)4月5日

調査面積 約10㎡

調査概要

今回の立会調査は、当該地に個人住宅を建設するための擁壁建設工事に伴って実施した。予定地は総社市街地になっている沖積平野の中央付近にあり、周辺では国道429号線改良や国道180号線改築工事によって連綿と発掘調査が実施され、総社市街地に広がる微高地の状況が判明してきている¹⁾。

調査地の現状は水田で、個人住宅の擁壁基礎の掘削時に立会調査を実施した。調査地の基本的な層序は水田耕作土の直下に中・近世の水田層と推定される黄灰色土層が3層あり、その下層が基盤層と考えられる暗灰褐色土となっていた。微高地であると判断されたが、遺構・遺物は認められなかった。

以上の調査結果から、調査地は井手見延遺跡内の安定した微高地上に位置していると推定される。(高橋)

注 岡山県教育委員会編 1995「南溝手遺跡1」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』100 岡山県教育委員会
岡山県教育委員会編 1996「南溝手遺跡2」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』167 岡山県教育委員会
総社市教育委員会編 2009「大文字遺跡(稻寺庵寺)」『総社市埋蔵文化財発掘調査報告』20 総社市教育委員会



- 1 耕作土
- 2 淡灰茶色土
- 3 淡黄灰色土
- 4 淡灰(黄)色土
- 5 暗灰褐色土

第6図 土層柱状図 (S=1/40)



第5図 調査地位置図 (S=1/10,000)



写真3 調査地全景



写真4 土層断面

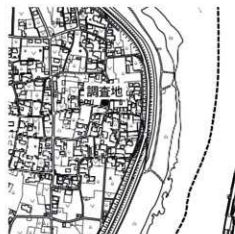
3. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査

遺跡名 名称未定
調査地 総社市案3304-7
調査期間 令和4年(2022年)4月6日
調査面積 約20㎡

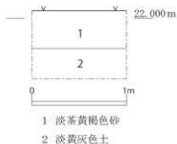
調査概要

今回の立会調査は個人住宅の擁壁建設に伴って実施した。計画地は、湾曲しながら南流する高梁川右岸に形成された沖積平野の中にある宅地であり、名称未定の遺跡に含まれている。近隣には中四国地方最古の古代寺院である秦廃寺や合計38基の古墳で構成される一丁塚古墳群や金子古墳群などが知られている。また、同じ山塊には室町時代の山城である荒平山城がある。

調査地は、過去に造成されていた宅地である。ここに個人住宅を建設する計画になり、擁壁の掘削中に立会調査を実施した。その結果、基本的な層序は、真砂土主体の造成土、砂質の強い淡黄褐色細土～淡黄灰色土の順で堆積しており、いずれも河川堆積の土層と考えられた。遺構・遺物は認められなかった。(高橋)



第7図 調査地位置図 (S=1/10,000)



第8図 土層柱状図 (S=1/40)



写真5 調査状況



写真6 擁壁掘削状況



写真7 土層断面

4. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査

遺跡名 延遺跡

調査地 総社市井手210-16

調査期間 令和4年(2022年)4月11日

調査面積 約10㎡

調査概要

今回の立会調査は、当該地に個人住宅を建設するための擁壁埋設工事に伴って実施した。予定地は延遺跡にあっている。近接する東総社中原本線改良事業に伴って発掘調査が実施されており、竈付きの住居址を多く含む18軒の住居址や掘立柱建物、弥生時代の溝や河道などが検出されている。

予定地の現状は既に造成された宅地で、重機による擁壁の掘削を立会調査した。その結果、耕作土の下は暗灰茶褐色土～暗茶灰褐色土の順に堆積しており、調査地は微高地上に位置していることが確認された。遺構は確認できなかったが、弥生土器の可能性のある土器片が出土している。

(高橋)



第9図 調査地位置図 (S=1/10,000)



第10図 土層柱状図 (S=1/20)



写真8 調査地全景



写真9 土層断面

5. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査

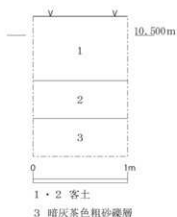
遺跡名 三須遺跡群
調査地 総社市三須1231-7, 1231-8
調査期間 令和4年(2022年)4月13日
調査面積 約10㎡

調査概要

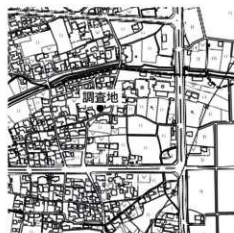
今回の立会調査は、個人住宅を建設するための擁壁建設工事に伴って実施した。予定地は総社市街地になっている沖積平野の中央付近にあり、周辺では国道429号線改良や国道180号線改築工事に伴って連続と発掘調査が実施され、総社市街地に濃密に分布する微高地の状況が判明してきている。

調査地の現状は水田で、個人住宅の擁壁基礎の掘削時に立会調査を実施した。調査地の基本的な層序は、約1.1mの厚さで、真砂土層と真砂土に基盤層が混ざった層による客土層があり、その下は暗灰茶色粗砂礫層の基盤層である。この基盤層は砂礫土質の強い土層であり、調査地点から西へ行くに従い、さらに砂礫土質が強くなっていく。

(高橋)



第12図 土層柱状図 (S=1/40)



第11図 調査地位置図 (S=1/10,000)



写真10 掘削状況



写真11 土層断面

6. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査

遺跡名 井手見延遺跡

所在地 総社市井手916-6, 916-7

調査期間 令和4年(2022年)4月15日・5月6日

調査面積 約20㎡

調査概要

今回の立会調査は個人住宅用地の擁壁建設に伴って実施した。近隣では、国道429号線拡幅に伴って三須・畠田遺跡が調査され、弥生時代後期から6世紀後半までの住居址21軒のほか柱穴・土塙・中世の建物1軒などが検出されている^{註1}。また、ガソリンスタンド建設に伴って中須賀遺跡が調査され、弥生時代の溝状遺構と6世紀後半の住居址1軒が検出されている^{註2}。

擁壁掘削は2度に分けて実施した。擁壁の断面では、耕作土の直下に約5cmの厚さの床土層があり、その下からは淡灰茶色土層の微高地となっている。遺構は柱穴・土塙などが検出された。遺物は須恵器破片・土師質土器碗破片が認められた。(高橋)



第13図 調査地位置図 (S=1/10,000)

註1 岡山県教育委員会編 2001『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』156 岡山県教育委員会

註2 総社市教育委員会編 1993「三須・畠田遺跡」『総社市埋蔵文化財調査年報』2 総社市教育委員会
総社市教育委員会編 1996「中須賀遺跡」『総社市埋蔵文化財調査年報』6 総社市教育委員会



第14図 土層柱状図 (S=1/40)



写真12 調査地全景



写真13 擁壁掘削状況



写真14 調査地土層断面

7. 電柱建柱工事に伴う立会調査

遺跡名 窪木遺跡

所在地 総社市窪木882-1

調査期間 令和4年(2022年)4月20日

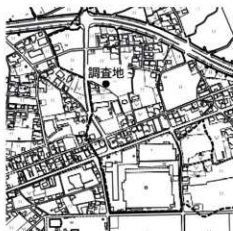
調査面積 約0.5㎡

調査概要

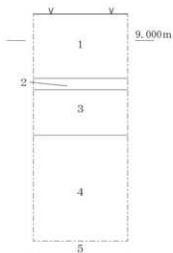
今回の立会調査は、新築の個人住宅に電柱を建設するための工事に伴って実施した。予定地は市街地の東方に位置しており、岡山県立大学を中心とする大きな微高地の一角に位置していると考えられる。調査地の現状は旧水田上に打放しコンクリート～真砂土造成された宅地である。ここに個人住宅を新築しており、電気を引くために電柱を建設する計画があがったため建柱機による掘削を立会した。

その結果、調査地はコンクリートベースの置き換え土の上に70cmの真砂土客土があり、その下には暗灰色粘質土～暗茶灰色粘質土の順に堆積しており、その下層は径10cm大の円礫中心の暗灰色砂礫層になっていた。

これらの状況から、この調査地は微高地中にある砂礫堆に近い点と考えられる。(高橋)



第15図 調査地位置図 (S=1/10,000)



- 1 真砂土客土
- 2 コンクリートベース
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗茶灰色粘質土
- 5 暗灰色砂礫層

第16図 土層柱状図 (S=1/40)



写真15 調査地全景



写真16 掘削状況

8. 配電線地中化工事に伴う立会調査

遺跡名 刑部遺跡

所在地 総社市刑部地内

調査期間 令和4年(2022年)5月10日

調査面積 約20㎡

調査概要

今回の調査地の現況は道路で、地上で電柱上に架設されている配電線を地下に埋設する工事に伴って実施した。

調査地は、刑部遺跡内に位置しており、総社市中心部を東西方向に運行するJR吉備線の線路の北側に位置している。近隣の遺跡では、総社市南部の遺跡分布は東半が多く、西半がやや少なくなっているが、直近の神明遺跡では、総社・一宮バイパス改築工事に伴う発掘調査で銅鐸が出土している³⁾。

調査地の堆積土層は約60cmの道路工事に伴う客土があり、その直下から約110cm下まで茶灰褐色土が堆積していた。堆積した土壌からしっかりした微高地であったと判断される。遺構・遺物は認められなかった。(高橋)

註 岡山県教育委員会編 2019「刑部遺跡・神明遺跡」『岡山県埋蔵文化財調査報告』249 岡山県教育委員会



第17図 調査地位置図 (S=1/10,000)



第18図 土層柱状図 (S=1/40)



写真17 調査地全景



写真18 調査地土層断面

9. 個人住宅用地擁壁建設に伴う立会調査

遺跡名 軽部遺跡
調査地 総社市清音軽部697-1
調査期間 令和4年(2022年)5月16日
調査面積 約10㎡

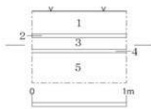
調査概要

今回の立会調査は、当該地に個人住宅を建設する際の基礎建設工事に伴って実施した。予定地は軽部遺跡の範囲内にあたり、近隣には清音駅前開発に伴って発掘調査が行われた下軽部遺跡や終末期古墳群である峠古墳群などが知られている。

予定地の現状は水田で、重機による擁壁の掘削を立会調査した。その結果、耕作土の下に床土層があり、その下層は淡灰黄色砂質土～(淡)灰(黄)色砂質土～灰(黄)色土の順に堆積しており、いずれもやや低地の堆積土層と考えられた。調査地の東から北東にかけて古くからの軽部の集落が広がっており、調査地は微高地の縁辺地にあたりと考えられる。遺構は確認できなかった。(高橋)



第19図 調査地位置図 (S=1/10,000)



- 1 耕作土
- 2 淡黄灰色細砂
- 3 淡灰黄色砂質土
- 4 (淡)灰(黄)色砂質土
- 5 灰(黄)色土

第20図 土層柱状図 (S=1/40)



写真19 調査地全景



写真20 土層断面

10. 電柱建柱工事に伴う立会調査

遺跡名 真壁遺跡

所在地 総社市中央四丁目地内

調査期間 令和4年(2022年)5月16日

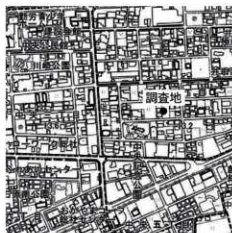
調査面積 約0.5㎡

調査概要

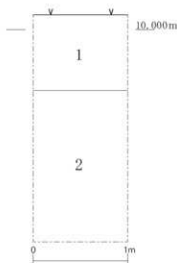
今回の立会調査は、新築の個人住宅地の電柱建設工事に伴って実施した。予定地は旧総社市街地の南に位置しており、中央土地区画整理事業に伴って1980年から発掘調査が実施された真壁遺跡の範囲内に当たり、調査地の周辺には溝や柱穴群が検出されている。

建柱機による掘削を立会調査した結果、調査地は約80cmの造成土の下は茶灰褐色土が120cmまで続いており、あまりしっかりしてはいないものの微高地と考えられた。

これらの状況から、この調査地は微高地化がやや遅れて進行した地点と考えられる。(高橋)



第21図 調査地位置図 (S=1/10,000)



- 1 造成土
- 2 茶灰褐色土

第22図 土層柱状図 (S=1/40)



写真21 調査地全景



写真22 掘削状況

11. 電柱建柱工事に伴う立会調査

遺跡名 中村遺跡
所在地 総社市総社二丁目1-9
調査期間 令和4年(2022年)5月18日
調査面積 約1㎡

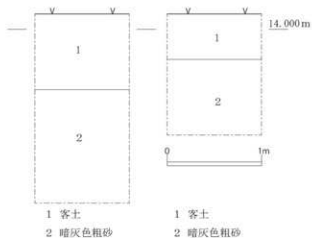
調査概要

調査地は、総社市街地の中央に点在する微高地中に位置しており、中村遺跡の範囲内である。

立会調査の結果、調査地は約60cmの真砂土客土があり、その下には自然層と考えられる暗灰色粗砂層が堆積していた。こうした状況から、調査地は、微高地端部に近い地点と考えられる。
 (高橋)



第23図 調査地位置図 (S=1/10,000)



第24図 土層柱状図 (S=1/40)



写真23 調査地全景



写真24 掘削状況

12. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査

遺跡名 金井戸天原遺跡
調査地 総社市金井戸206-3
調査期間 令和4年(2022年)5月20日
調査面積 約10㎡

調査概要

今回の立会調査は個人住宅建設のため、重機によって掘削した擁壁を確認した。ここは金井戸天原遺跡に位置しており、弥生時代から近世にかけての複合遺跡とされている。近隣には井手村後遺跡^{注1}・清水角遺跡^{注2}・大文字遺跡^{注3}などが相接して存在しており、広い微高地が存在していることが予想された。

立会調査の結果、調査地の基本的な層序は、旧耕作土の下には灰茶(褐)色土～灰(褐)色土が順に堆積していた。この土層中には中近世の土器片が包含されており、微高地上に位置していると考えられるが、微高地化が遅れたものと推定された。



第25図 調査地位置図 (S=1/10,000)

- 注1 総社市編 2021「刑部・三須線建設に伴う発掘調査」『総社市埋蔵文化財調査年報』30 総社市
注2 総社市教育委員会編 1991「清水角遺跡発掘調査概報」『総社市埋蔵文化財調査年報』1 総社市教育委員会
注3 総社市教育委員会編 2013「南溝手地内の保育所建設に伴う発掘調査概要報告」『総社市埋蔵文化財調査年報』22 総社市教育委員会



第26図 土層柱状図 (S=1/40)

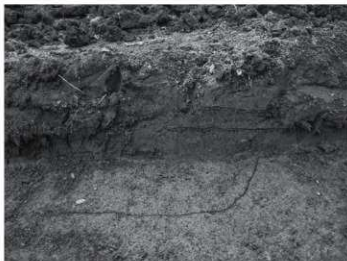


写真25 土層断面

13. 宅地造成に伴う確認調査

遺跡名 井尻野遺跡
調査地 総社市井尻野1164-1外5筆
調査期間 令和4年(2022年)5月20日
調査面積 9㎡

調査概要

調査地点は、周知の埋蔵文化財包蔵地である井尻野遺跡の範囲である。総社市市街地の北西端に位置しており、すぐ西側に高梁川が南北方向に走る。また、北東側に宝福寺が存在する井尻野遺跡は弥生時代～中世にかけての散布地で、かつて旧石器も採集されている。

今回の確認調査は分譲住宅地造成に伴って実施した。計画地内の指定道路部分に5本のトレンチ(2.0m×1.5m)を設定して実施した。

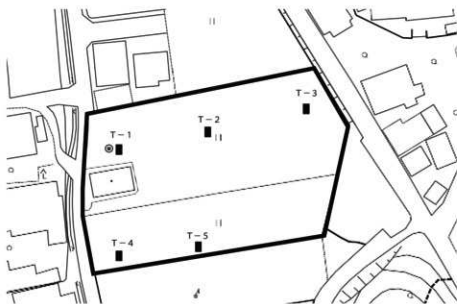
調査の結果、T-1では表土と水田の床土の直下は、灰色、黄褐色、暗灰色、淡灰色の粘質細砂と砂質土が続く。遺構・遺物は存在しなかった。

T-2は表土直下から灰色、黄褐色、褐色、灰色の粘質細砂と砂質土が続く。遺構・遺物は存在しなかった。

T-3は表土直下から灰色、黄灰色、暗褐色、暗灰色の粘質細砂と砂質土が続く。遺構・遺物は存在しなかった。



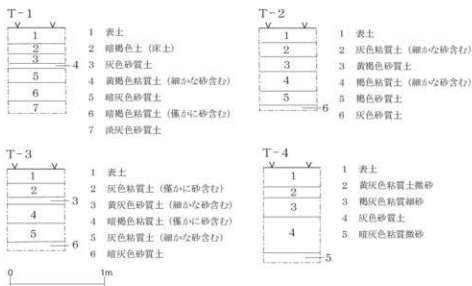
第27図 調査地位置図 (S=1/10,000)



第28図 トレンチ配置図 (S=1/1,000)

T-4は表土と床土の直下は、黄灰色、褐灰色の粘質微砂の下に約0.3mの灰色砂質土が続く。遺構・遺物は存在しなかった。T-5はT-1よりさらに0.1mほど低い地点であり、堆積土はT-1と同様であった。遺構・遺物は存在しなかった。

以上の結果から今回の調査地点は、古くから低部位に位置していたと推定される。(小林)



第29図 トレンチ柱状図 (S=1/40)

14. 認定こども園建設に伴う試掘調査

遺跡名 遺跡外

調査地 総社市岡谷字馬通543, 548-1, 549

調査期間 令和4年(2022年)6月20日

調査面積 9㎡

調査概要

調査地は、山手地区に位置し、周知の埋蔵文化財包蔵地である角力取山遺跡の南端に隣接する地点である。総社市街地の南東部に位置しており、すぐ東側には国道429号線が走る。角力取山遺跡は、弥生時代～古墳時代にかけての散布地で、ほぼ中央に位置する角力取山古墳をピークに、低い丘陵状の地形を取る。今回の調査地点は丘陵の南端に隣接する平地にあたる。

今回の試掘調査は、認定こども園建設に伴って実施した。計画地内の建物部分に3本のトレンチ(2.0m×1.5m)を設定した。

T-1の基本的な層序は、表土の直下より、黄褐色、鉄分混じりの黄褐色、にぶい黄褐色、青灰色、にぶい茶褐色の粘質土と青灰色砂質土が続く。遺構は存在しなかったが表土直下から近世の土器片がわずかに出土した。

T-2の基本的な層序は、表土直下より鉄分混じりの黄褐色、青灰色、にぶい青灰色の砂質土と青灰色砂質土が続く。T-1と同様、遺構は存在しなかったが表土直下から近世の土器片がわずかに出土した。

T-3の基本的な層序は、表土直下より、やや鉄分混じりの黄褐色、青灰色、黄褐色、にぶい黄褐色、茶褐色の粘質土と青灰色砂質土が続く。遺構・遺物は存在しなかった。

以上の結果から、表土直下では近世の包含層があることが明らかとなったが、中世以前の遺構・遺物は存在しないことがわかった。

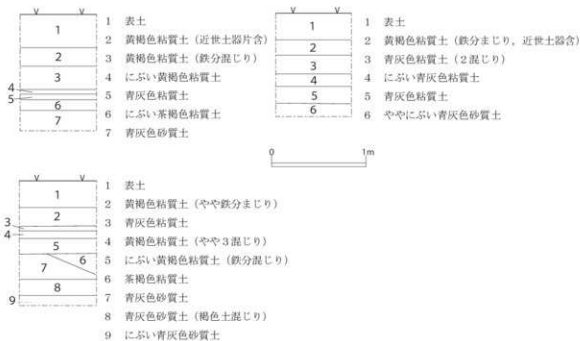
(岩橋・小林・平井)



第30図 調査地位置図 (S=1/10,000)



第31図 トレンチ配置図 (S=1/1,000)



第32図 トレンチ柱状図 (S=1/40)

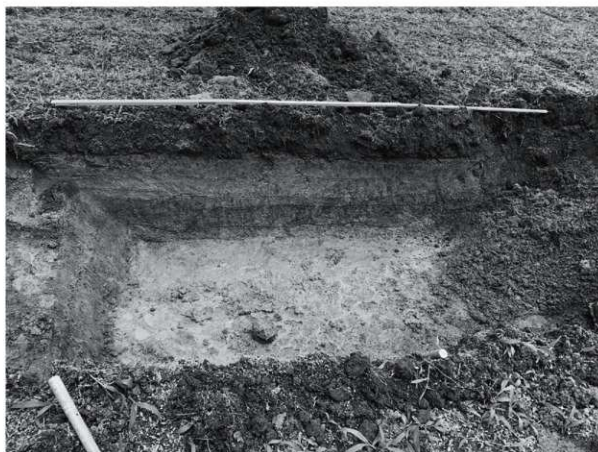


写真26 調査状況

15. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査

遺跡名 窪木遺跡

調査地 総社市窪木882-7, 882-50

調査期間 令和4年(2022年)8月5日

調査面積 約3㎡

調査概要

今回の立会調査は個人住宅建設のため、重機によって掘削した浄化槽を確認した。当該地は窪木遺跡内に位置しており、弥生時代から近世にかけての複合遺跡とされている。近隣には南溝手遺跡^{註1}・北溝手遺跡^{註2}・窪木遺跡^{註3}・窪木宮後遺跡^{註4}などが近接して存在しており、広い微高地が存在していることが予想される。

立会調査の結果、調査地には約90cmの客土があり、それ以下は茶灰褐色砂質土層になっていた。調査地は微高地上と考えられるが、遺構・遺物は確認できなかった。

(高橋)



第33図 調査地位置図 (S=1/10,000)

- 註1 岡山県教育委員会編 1995「南溝手遺跡」1『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』100 岡山県教育委員会
岡山県教育委員会編 1995「南溝手遺跡」2『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』107 岡山県教育委員会
岡山県教育委員会編 1997「北溝手遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』121 岡山県教育委員会
岡山県教育委員会編 2002「北溝手遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』162 岡山県教育委員会
註2 岡山県教育委員会編 1997「窪木遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』121 岡山県教育委員会
岡山県教育委員会編 1998「窪木遺跡」2『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』124 岡山県教育委員会
岡山県教育委員会編 2002「窪木遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』162 岡山県教育委員会
註4 総社市教育委員会編 1991「(仮称)岡山県立大学進入路・排水路工事に伴う調査概要」『総社市埋蔵文化財調査年報』1
総社市教育委員会



第34図 土層柱状図 (S=1/40)



写真27 調査地全景



写真28 調査地掘削状況

16. 個人住宅地造成に伴う立会調査

遺跡名 賀夜庵寺（栢寺庵寺跡）

調査地 総社市南溝手字栢寺元295-28、295-29、295-40

調査期間 令和4年（2022年）10月25日

調査面積 357.19㎡

調査概要

栢寺庵寺跡内における個人住宅地造成に伴い立会調査を実施した。調査地周辺の調査状況は北側に隣接地点において塔基壇跡が確認されている^{註1}。南西約50mの地点では中世の遺構、遺物が確認されている^{註2}。

基本的な層序は、第1層が表土、第2層が炭を含んだ赤褐色粘質土、第3層が炭を含んだ赤褐色砂質土、第4層が赤褐色砂質土である。

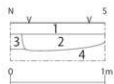
第3層より、土器片が多数出土したことに加え、第4層より完形の弥生土器が出土した。土器の形状より弥生時代後期の所産と考えられる。遺構の有無については確認できなかったが、土器が密集して出土している様子から、申請地内に何らかの遺構が存在していた可能性は高いと推定される。（岩橋）



第35図 調査地位位置図 (S=1/10,000)

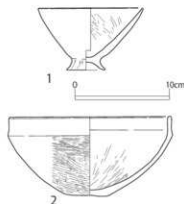
註1 岡山県教育委員会編 1979「栢寺庵寺緊急発掘調査報告書」岡山県教育委員会

註2 総社市編 2021「大文字遺跡の分譲地開発に伴う確認調査」『総社市埋蔵文化財調査年報』30 総社市



- 1 表土
- 2 赤褐色粘質土（表土混ざる、攪乱か）
- 3 赤褐色砂質土（炭片含む）
- 4 赤褐色砂質土（土器片含む）

第36図 土層柱状図 (S=1/40)



第37図 第3層出土弥生土器実測図 (S=1/4)



写真29 土層断面



写真30 弥生土器出土状況

17. 個人住宅建設に伴う立会調査

遺跡名 三輪遺跡群
調査地 総社市駅南二丁目16-24
調査期間 令和4年(2022年)12月9日
調査面積 約2㎡

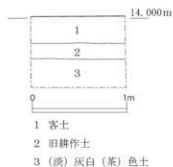
調査概要

今回の立会調査は、当該地に個人住宅を建設することに伴って実施した。予定地は三輪遺跡群にあつている。近隣では、総社駅南地区区画整理事業に伴って継続的に発掘調査が実施されており、縄文時代晩期から近世にかけての多くの遺構が検出されている。

予定地の現状は既に造成された宅地で、重機によって試掘坑を設定した。その結果、客土の下には旧水田耕作土があり、その下には(淡)灰白(茶)色土が堆積していた。遺構、遺物は確認できなかった。(高橋)



第38図 調査地位置図 (S=1/10,000)



第39図 土層柱状図 (S=1/40)



写真31 調査地全景



写真32 土層断面

18. 配管工事に伴う立会調査

遺跡名 宝福寺跡

調査地 総社市井尻野1968

調査期間 令和4年(2022年)12月8日, 9日, 13日

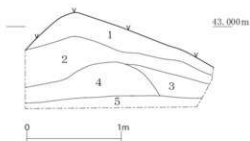
調査面積 約10㎡

調査概要

今回の立会調査の予定地は、宝福寺跡に位置している。ここに防火施設を建設することになり、放水銃の配管工事に伴って立会調査を実施した。予定地の現状は宝福寺三重塔の塀の西側に築地土塀にあたっている。配管の掘削を立会した結果、築地土塀は地山である黄色砂質土層を平らに成形した上に盛土をして築かれており、締まりの良い白黄褐色砂質土～にぶい黄褐色砂質土～黄褐色砂質土の順に盛土されていることが判明した。(高橋)



第40図 調査地位置図 (S=1/10,000)



- 1 表土
- 2 黄褐色砂質土
- 3 にぶい黄褐色砂質土
- 4 白黄褐色砂質土
- 5 黄色砂質土(地山)

第41図 土層断面図 (S=1/40)



写真33 調査地全景



写真34 土層断面

19. 道路建設に伴う立会調査

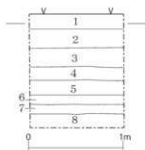
遺跡名 西山古墳群
調査地 総社市総社2484-1外60筆
調査期間 令和4年(2022年)12月13日
調査面積 約10㎡

調査概要

今回の立会調査は、市道刑部支線3283号道改良工事に伴う道路側溝工事の実施に伴って実施した。立会調査は、重機による側溝掘削時に実施した。予定地は西山古墳群の所在する西山山塊の北側に位置する水田である。近隣は遺跡の集中地で中山古墳群、新田古墳群、福井大塚古墳群、服部遺跡、北溝手遺跡、南溝手遺跡など多くの遺跡が集中している。

調査地の基本的な堆積は基盤層と考えられる青灰色粘質土の上に山側からの流入土と考えられる黒色砂質土～赤褐色砂質土～黒色砂質土～白色砂質土～青灰色粘質土～表土の順に堆積していた。遺構・遺物は認められなかった。岡山県古代古備文化財センターによる中国横断自動車道建設に伴う発掘調査の際、当該地の南側に位置する西山遺跡では、水田中からは遺構が検出されておらず、東側に位置する服部遺跡では粘土採掘場が見つかった。

以上のことから今回の調査地には遺構が存在していないと考えられる。(高橋)



- 1 表土
- 2 青灰色粘質土
- 3 白色砂質土
- 4 白色砂質土
- 5 黒色砂質土
- 6 赤褐色砂質土
- 7 黒色砂質土
- 8 青灰色粘質土

第43図 土層柱状図 (S=1/40)



第42図 調査地位置図 (S=1/10,000)



写真35 調査地全景



写真36 土層断面

20. 駐車場建設に伴う試掘調査

遺跡名 折敷山遺跡

調査地 総社市赤浜折敷山下538-1外

調査期間 令和5年(2023年)1月11日

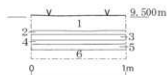
調査面積 約5㎡

調査概要

今回の試掘調査は、工場の敷地内に駐車場を建設するための試掘調査として実施した。当該地は「協同組合テクノパーク総社」として1990年に発掘調査が実施され、折敷山遺跡と雲上山古墳が調査されている^註。このうち折敷山遺跡からは弥生時代中期の竪穴住居址1軒と段状遺構3基、土壇2基、古墳時代と推定される鍛冶炉1基が検出され、雲上山古墳は一辺8.6mを測る方墳で、出土した須恵器から5世紀中頃の築造と考えられている。

今回の駐車場建設予定地は、現在の工場敷地の西側に広がる水田を埋め立てて造成した雑地で、重機で2か所のトレンチを掘削して実施した。その結果、いずれのトレンチも表土の下には旧水田耕作土があり、それ以下は粘質の強い土層となっていた。いずれも中世以降の堆積と推定され、遺構、遺物は確認できなかった。(高橋)

註 総社市教育委員会編 1993「折敷山遺跡・雲上山11号墳」総社市埋蔵文化財発掘調査報告10 総社市教育委員会。



- 1 旧耕作土
- 2 青灰色粘質土
- 3 赤褐色砂質土
- 4 黒色粘質土
- 5 黒色砂質土
- 6 茶褐色粘質土

第45図 土層柱状図 (S=1/40)



第44図 調査地位置図 (S=1/10,000)



写真37 調査地全景



写真38 土層断面

21. 個人住宅擁壁建設に伴う立会調査

遺跡名 早溝遺跡
 調査地 総社市井手507-5
 調査期間 令和5年(2023年)1月12日
 調査面積 約15㎡

調査概要

今回の立会調査は、当該地に個人住宅を建設するための擁壁建設工事に伴って実施した。予定地は早溝遺跡にあたっている。近接する総社東中学校において、パソコン教室と屋内運動場建設に伴って発掘調査が実施されており、溝や土壌・焼土壌などの弥生時代から中・近世にかけての遺構が検出されている³⁾。

予定地の現状は耕作放棄地の元水田で、重機による擁壁の掘削を立会調査した。その結果、元耕作土の下は赤褐色粘質土～白灰色粘質土～黄褐色粘質土の順に堆積しており、性格不明の遺構が確認された。遺構の性格・内容は確認できなかったが、住居址の可能性も高い。遺物は出土していない。(高橋)



第46図 調査地位図 (S=1/10,000)

註 総社市教育委員会編 1994「早溝遺跡」『総社市埋蔵文化財調査年報』
 3 総社市教育委員会



- 1 赤褐色粘質土
- 2 青灰色粘質土
- 3 明黄褐色粘質土
- 4 灰褐色粘質土

第47図 土層柱状図 (S=1/40)



写真39 調査地全景



写真40 基礎掘削断面

22. 個人住宅浄化槽建設に伴う立会調査

遺跡名 天満遺跡
調査地 総社市三須字天満778-1
調査期間 令和5年(2023年)2月14日
調査面積 約2㎡

調査概要

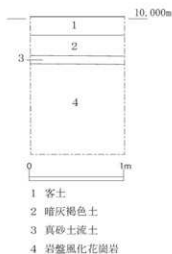
今回の立会調査は、当該地に建設した個人住宅の浄化槽掘削工事に伴って実施した。調査地は天満遺跡にあたっており、近隣では過去に調査地の東に位置する国道429号線改良に伴って岡山県古代吉備文化財センターが三須河原遺跡・三須畠田遺跡等の調査を実施している²⁵。

予定地の現状は低丘陵の上部を削平して造成された住宅地の一角で、もとは畑として利用されていた。立会の結果、畑の耕作土の下には真砂土の流土があり、その直下から風化花崗岩の岩盤層になっていた。遺構・遺物は出土しなかった。(高橋)



第48図 調査地位置図 (S=1/10,000)

註 岡山県教育委員会編2001「岡谷大溝敷布地 三須今溝遺跡 三須河原遺跡 三須畠田遺跡 井手見延遺跡 井手天原遺跡 国道429号線改良に伴う発掘調査Ⅱ」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』156 岡山県教育委員会



第49図 土層柱状図 (S=1/40)



写真41 土層断面

23. 宅地造成に伴う確認調査

遺跡名 広峰遺跡

調査地 総社市小寺字川原420-1, 431-1, 432-1

調査期間 令和5年(2023年)3月1日

調査面積 12㎡

調査概要

確認調査は、開発道路範囲に6か所トレンチを設置し実施した。

T-3において、表土約60cmで遺構と思われる茶褐色粘質土層を確認した。出土土器から弥生時代と思われる。またT-3に近接するT-2, T-5, T-6においては、表土下約40~50cmで遺物を少量出土する土層を確認した。いずれのトレンチも包含層直下は砂質土層である。なお、T-1とT-4には包含層が伸びていない。

この結果、T-2, T-3, T-5, T-6付近に包含層が存在するが、その中心はT-3と考えられる。この地点の南側は、元々地表面が高く現在宅地化されている。そのため遺跡の中心はT-3から南側に伸びていたと推定され、T-2, T-5, T-6付近は縁辺部であった可能性が高い。

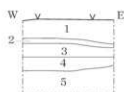


第50図 調査地位置図 (S=1/10,000)

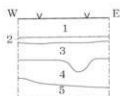
(岩橋・小林)



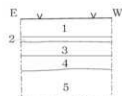
第51図 トレンチ配置図 (S=1/1,000)



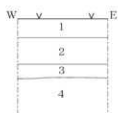
- 1 表土
- 2 水田層
- 3 近世水田層
- 4 茶褐色粘質土
(土器片1点出土)
- 5 旧河道



- 1 表土
- 2 水田層
- 3 茶褐色粘質土
(数分わずかに
含む、土器片1出土。
包含層もしくはたわみの
底)
- 4 茶褐色粘質土
- 5 明茶褐色粘質土

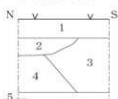


- 1 表土
- 2 水田層
- 3 青灰色粘質土
- 4 ややにぶい青灰色粘質土
- 5 赤褐色粘質土
(土器出土、弥生時代もしくは
古墳時代の遺構面)



- 1 表土
- 2 水田層
- 3 黄褐色砂質土
- 4 旧河道

0 1m



- 1 表土
- 2 明茶褐色粘質土
- 3 段層 (旧河道)
- 4 茶褐色粘質土 (断面傾斜)
- 5 ややにぶい茶褐色砂質土
(土器片少量出土)



- 1 表土
- 2 床土
- 3 茶褐色粘質土
- 4 茶褐色粘質土
- 5 濃い茶褐色粘性細砂

第52図 トレンチ柱状図 (S=1/40)

3. 発掘調査の概要

1. 個人住宅用地建設に伴う発掘調査 1

遺跡名	阿弥陀遺跡
調査地	総社市真壁字阿弥陀1157-1外
調査期間	令和4年(2022年)4月21日～7月29日
調査面積	約440㎡

調査概要

今回の調査は、当該地に7軒分の個人住宅用地を建設するための、進入路建設工事に伴って実施した。予定地の現状は、耕作放棄された水田と畑地である。建設予定地は阿弥陀遺跡にあたっているため、確認調査を2022年4月21日から4月27日にかけて実施した。近隣では、あまり発掘調査が実施されておらず、周辺の遺跡の状況は不詳であるが、今回の調査地の西隣の水田でマンホール設置に伴う立会調査が1993年に実施されており、微高地が確認されている^{註1}。また、南へ約350mの地点に位置する水田では、分譲宅地造成に伴って試掘調査が実施されている。そこではシルト層が堆積しており、遺構等は確認できていない^{註2}。



第53図 調査地位置図 (S=1/10,000)

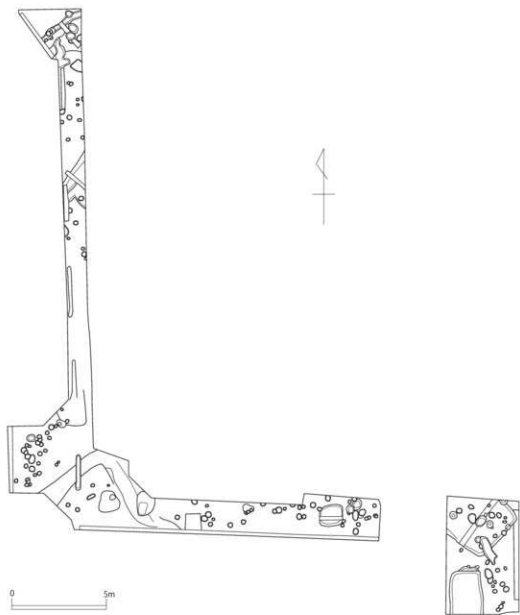
確認調査は、進入路建設予定地を人力によって、トレンチを7か所設定して実施した。その結果、全てのトレンチが微高地上に位置しており、柱穴・溝・土塋・住居址などが確認された。このため発掘調査を実施することとした。

発掘調査は、5月26日から7月29日にかけて実施した。調査予定地はL字形を呈しており、現在住宅への進入路として利用している部分をあけてL字形の調査区と、東側に飛地状に約6m×9mの長方形の調査区とに分けて実施した。調査地の基本的な層序は、耕作土の下層に5～10cm程度の床土層があり、その直下から黄灰褐色の微高地層で、遺構検出面となる。検出された遺構は、住居址1軒、柱穴170基、土塋7基、溝2条、大溝1条、溝状遺構3条等である。このうち住居址は、東端の調査区で検出された一辺約4mの隅丸方形のものである。全体の約7割が調査されており、4本柱と推定される。約90cm×65cmを測る楕円形の中央穴がある。住居址から出土した土器は少量であるが、土師器壺形土器や高坏脚などがある。須恵器は検出されなかった。出土した土器から4世紀代と考えられる。

今回の調査地は、阿弥陀遺跡の推定分布範囲のほぼ中央南半に位置している。阿弥陀遺跡は、総社市街地に点在する微高地上に営まれた遺跡と考えられる。調査の結果、調査地の全体が微高地上に位置しており、調査地南半の遺構密度が高くなることが判明した。(高橋)

註1 総社市教育委員会編 1984「マンホール設置に伴う立会調査」『総社市埋蔵文化財調査年報』3 総社市教育委員会

註2 総社市編 2020「真壁地内の分譲住宅地造成にともなう試掘調査」『総社市埋蔵文化財調査年報』29 総社市



第54図 遺構配置図 (S=1/200)



写真42 南北調査区完掘状況（南から）



写真43 東西調査区完掘状況（西から）



写真44 東端調査区完掘状況（北から）

2. 個人住宅用地建設に伴う発掘調査2

遺跡名 阿弥陀遺跡

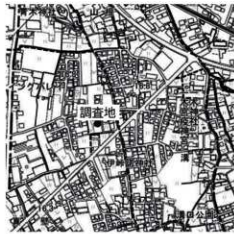
所在地 総社市真壁字阿弥陀1157-1外

調査期間 令和4年(2022年)8月16日～9月30日

調査面積 60㎡

調査概要

総社市真壁地内において、7棟分の分譲住宅新築工事が計画された。この地は周知の埋蔵文化財包蔵地ではなかったが、当時北東側に近接した場所において同じく分譲住宅新築のため発掘調査を実施していた(39頁～41頁参照)。このため開発業者から念のために照会があり、遺跡の取り扱いについて検討をした。近接して調査中の箇所も、本来は開発部分の北半分のみが周知の範囲だったが、調査の結果南側にも遺跡が広がることが確認されたところである。そのため本開発予定地にも遺跡が存在する可能性が考えられたため、8月11日に分譲住宅新築の開発道路部分4か所で試掘調査を実施した。



第55図 調査地位位置図 (S=1/10,000)

試掘調査は、開発予定地中央付近で東西方向に3か所、それより南側で1か所においてトレンチを設定して行った。その結果、東西方向3か所は砂層が中心であり包含層が存在せず低位部の様相であったが、南側1か所において表土直下で包含層を確認した。この成果を基に開発業者と再協議をし、包含層を確認した南側トレンチを中心とした60㎡を全面発掘調査することで合意した。

調査の結果、表土直下において北西方向から南東方向に走る溝を確認した。この遺構は今回調査区のほぼ中央部分にあり、試掘調査時の包含層とはこの溝の埋土に当たる。溝の規模は幅約4m、深さ約1.8mを測る。埋土の上層からは中世の土師器が出土するものの、最下層付近で古墳時代前期の土師器壺が口縁部から頸部にかけて1周するように出土した。この土師器が溝の埋設時期を表すと想定される。この時期は、北東側近接の調査区で検出された堅穴住居とほぼ同じである。この溝より北側では検出遺構はほとんどないが、南側において時期不明の土壙を3基検出している。このことから、北東側近接の調査区で検出された微高地が南西方向に向けて一端低位部となり、今回検出の溝付近で高くなり再び微高地を形成する可能性が考えられる。また今回見つかった溝は、北東側近接の調査区で検出された古墳時代中期の溝とほぼ平行して流れており、両者は時期こそ異なるが阿弥陀遺跡周辺の土地利用を考える上で興味深い。

(小林)



写真45 調査区全景



写真46 土師器出土状況

3. 刑部三須線建設工事に伴う発掘調査

遺跡名 清水角遺跡

調査地 総社市井手605-1

調査期間 令和4年(2022年)8月22日～11月25日

調査面積 約230㎡

調査概要

今回の発掘調査は、当該地に都市計画道路刑部三須線を建設するために実施した。調査地は元衣料品店舗であり、現状は店舗の既存建物を撤去した跡地とアスファルト舗装された駐車場である。調査地の北側は既に都市計画道路が建設されており、1990年に発掘調査が実施されている²¹。この時の発掘調査では、上・下2面の生活面が調査されており、鎌倉時代の土壇や溝・柱穴・土壇墓などが検出され、土師質土器や陶磁器などが出土している。土壇墓からは歯や頭蓋骨・鉄釘が出土しており、また、副葬品として鉄刀・土師質小皿・完形の白磁椀が出土しており、鎌倉時代前半期のもつと推定されている。また、調査地の東方に位置する都市計画道路総社駅前線の発掘調査では、長さ約140m、幅約16mの範囲が調査され、井戸状の土壇や、溝、柱穴などが検出されている²²。



第56図 調査地位置図 (S=1/10,000)

今回の調査は、床掘土と廃土の置き場の関係から約13×27mの調査地を3分割して、それぞれ北からⅠ・Ⅱ・Ⅲ区として北側から順次実施した。その結果、検出された遺構は柱穴113、土壇16、溝4、溝状遺構17、鍛冶炉2であった。遺構は第57図遺構配置図にあるとおり、不定形な溝状・窪み状のものが大半であり、実際の用途・機能については不詳である。

一番北端のⅠ区は弥生時代～中世にかけての柱穴が一番多く検出され、東西方向に流れる溝と南北方向に流れる溝も検出された。中央のⅡ区からは、Ⅰ区から続くと考えられる南北方向の溝と柱穴・土壇様の遺構が検出された。Ⅲ区では東西方向に流路のある溝から土器片や礫など比較的多くの遺物が出土している。それぞれの調査区の遺構検出面の水準高は、北からⅠ・Ⅱ区で標高111.1m、Ⅲ区で標高11mと、北から南にかけて地形がやや下がっている。

遺構の時期としては柱穴・土壇からは、12～14世紀にかけての土師質土器椀・小皿が出土しており、一番新しいものとしては土壇-2から備前焼のすり鉢が出土している。鍛冶炉は時期不詳であるが、検出された遺構のほとんどは12～14世紀にかけてのものと考えられるので、この時期に近接した時期のものとして推定される。

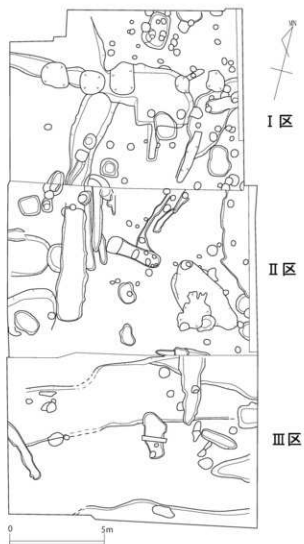
以上のように検出された遺構は、溝と溝状遺構・少量の柱穴であり、調査地の北側に隣接する調査区で1990年の調査の際に土壇墓が検出されていることから、今回の調査地は集落の中心地から外れていき、南へ行くに従い遺構が希薄になっていく地点と考えられる。遺構の時期としては、最も古いものは弥生時代中期の柱穴が少量あるが、ほとんどの土壇・溝状遺構は古代末～中世にかけてのもの

であった。

(高橋)

註1 総社市教育委員会編 1991「清水角遺跡発掘調査概報」『総社市埋蔵文化財調査年報』1 総社市教育委員会

註2 総社市教育委員会編 1984「清水角遺跡」『総社市埋蔵文化財発掘調査報告』1 総社市教育委員会



第57図 遺構配置図 (S=1/200)



写真47 I区全景(南西から)



写真48 II区全景(東から)



写真49 Ⅲ区全景（北から）

4. 個人用住宅用地建設に伴う発掘調査

遺跡名 真壁遺跡

所在地 総社市中央四丁目23-103 外

調査期間 令和4年(2022年)10月19日～10月31日

調査面積 75㎡

調査概要

総社市中央地内において、6棟分の新築住宅新築工事が計画された。8月31日に開発業者から照会を受け、計画地は周知の埋蔵文化財包蔵地である真壁遺跡の範囲内であることを確認した。この地周辺の都市計画道路では、かつて発掘調査を実施し多くの成果をあげている。当時の調査では、弥生時代～古墳時代の大規模な集落遺跡や、中世期となる方形区画の屋敷地などが検出された。現在の地形を観察してみても、周辺より少し標高が高い土地である。これらのことから真壁遺跡は、西隣に近接して発掘調査を実施した三輪遺跡群とともに、総社市内における古代から中世にかけての中核的な遺跡であったことが想定される。

今回の計画地は、都市計画道路建設時の発掘調査で遺構を検出している箇所と近接した場所に当たる。遺構が存在する可能性が極めて高いため、業者との協議により、開発道路部分において発掘調査を実施することで合意した。ただし、道路予定地の南側半分はすでに都市計画道路時に調査を終えていたため、北側部分の75㎡を調査対象とした。

調査の結果、たわみ状の遺構を2条検出する。この遺構から遺物は出土しなかったが、白灰色系の埋土から推測して中世期ではないかと考えた。規模は、2つとも幅約1.6mで、深さは0.2mである。南南西方向から北北東方向に走っており、このたわみを境に周辺の地形は西側が高く、東側が低くなっている。この遺構の下層は微高地状の土層であったが、古代に遡る遺構・遺物は発見できなかった。都市計画道路の調査を担当した村上幸雄氏の話では、真壁遺跡は遺構密度の割に出土遺物は少ないことが特徴であったらしい。今回の調査地点からは出土遺物が少なかったが、かつての調査図面から考えても近接した箇所には古代に遡る遺構が存在すると想定できる。(小林)



第58図 調査地位置図 (S=1/10,000)



写真50 調査区全景（西から）



写真51 調査区全景（北から）

4. 鬼城山整備事業の概要

令和4(2022)年度 鬼城山整備事業概要

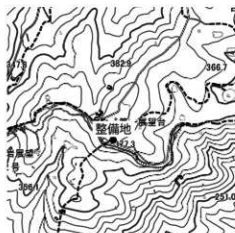
概 要

令和4年度の鬼城山整備事業では、版築土塁の修復を実施した。

今回整備を行った箇所は、令和3年8月16日の豪雨の際に崩落した西門の東側から高石垣の間の部分である。崩落の範囲は、幅5.3m、高さ2.3mの範囲であったが、修復面積は46.53㎡である。壁面から厚さ30cmについては、版築工法で復元した。

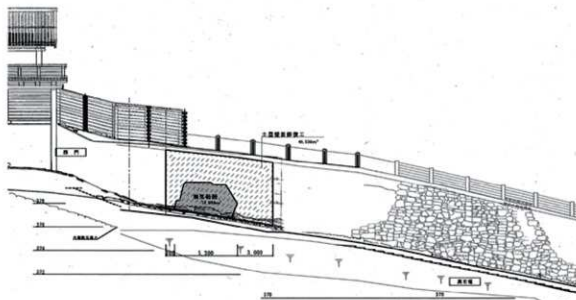
事業は、令和4年8月に実施設計が完成した後、同年12月から整備工事に着手、令和5年3月に完成した。

なお、当初は版築土塁に含めるセメントの割合を5～7%で実施する計画であったが、整備委員会において版築の強度を保つためセメントの割合を高くしてはどうかとの意見があがった。そのため、サンプルによる検証を踏まえ、セメント割合を15%にして施工した。



第59図 整備地位置図 (S=1/10,000)

(間所)



第60図 土塁復元範囲図



写真52 土壘崩落状況（東から）



写真53 土壘修復状況（東から）

報 告 書 抄 録

ふりがな	そうじゃしまいぞうぶんかざいちょうさねんぼう
書名	総社市埋蔵文化財調査年報 33
副書名	
巻次	
シリーズ名	総社市埋蔵文化財調査年報
シリーズ番号	33
編著者名	問所克仁, 高橋進一, 小林利晴, 岩橋惇也, 平井典子
編集機関	岡山県総社市産業部観光プロジェクト課
所在地	〒719-1163 岡山県総社市地頭片山17-1 Tel 0866-92-8363
発行年月日	2024（令和6）年3月29日

総社市埋蔵文化財調査年報 33

令和6（2024）年3月29日 印刷

令和6（2024）年3月29日 発行

編集発行 岡山県総社市産業部
観光プロジェクト課
岡山県総社市地頭片山17-1

印刷 サンコー印刷株式会社
岡山県総社市駅南一丁目1番地5

